一般演題プログラム
（ワークショップ・口演）

※本号（（　）内）のページ数を掲載しております。

ワークショップ

				プログラム	抄録
12月2日（日）	WSD	歯科受診が契機で HIV 感染症が判明した症例 ……	10：00～10：50	P.55	P.227

口演

				プログラム	抄録
12月2日（日）	O1	看護 1 ……	9：00～ 9：50	P.56	P.230
	O2	検査相談 1 ……	9：00～ 9：50	P.57	P.232
	O3	母子感染 ……	9：00～ 9：50	P.58	P.235
	O4	新薬開発 ……	9：00～ 9：40	P.59	P.237
	O5	看護 2 ……	10：00～10：50	P.60	P.239
	O6	検査相談 2 ……	10：00～11：00	P.61	P.242
	O7	薬剤耐性 ……	10：00～10：50	P.62	P.245
	O8	生活習慣病 1（脂質・炎症）……	14：00～14：50	P.63	P.247
	O9	抗 HIV 療法 1 ……	14：00～14：50	P.64	P.250
	O10	免疫 ……	14：00～14：50	P.65	P.252
	O11	服薬アドヒアランス ……	15：00～15：50	P.66	P.255
	O12	抗 HIV 療法 2 ……	15：00～15：50	P.67	P.257
	O13	潜伏感染 ……	15：00～15：50	P.68	P.260
	O14	カウンセリング ……	16：00～16：50	P.69	P.262
	O15	薬害・人権 ……	17：00～17：50	P.70	P.265
	O16	症例報告 1 ……	17：00～17：50	P.71	P.267
12月3日（月）	O17	分子疫学 ……	10：00～10：50	P.72	P.270
	O18	HAND ……	10：00～11：00	P.73	P.272
	O19	日和見感染 ……	10：00～10：50	P.74	P.275
	O20	教育・行動科学・意識調査 ……	11：00～11：50	P.75	P.278
	O21	医療体制 1 ……	11：10～11：50	P.76	P.280
	O22	症例報告 2・STD ……	11：00～11：50	P.77	P.282
	O23	構造と感染機構 1 ……	16：30～17：10	P.78	P.285
	O24	肝炎 ……	16：30～17：20	P.79	P.287
	O25	疫学 ……	16：30～17：20	P.80	P.289
	O26	構造と感染機構 2 ……	17：30～18：10	P.81	P.292
	O27	MSM ……	18：30～19：30	P.82	P.294
12月4日（火）	O28	複製 ……	9：00～ 9：50	P.83	P.297
	O29	副作用 ……	9：00～ 9：50	P.84	P.299
	O30	陽性者支援 1 ……	9：00～ 9：50	P.85	P.302
	O31	医療体制 2 ……	9：00～ 9：50	P.86	P.304
	O32	宿主因子 ……	10：00～10：50	P.87	P.307
	O33	生活習慣病 2（DM・ポリファーマシー）……	10：00～10：50	P.88	P.309
	O34	陽性者支援 2 ……	10：00～10：50	P.89	P.312
	O35	薬剤耐性・PEP/PrEP ……	11：00～12：00	P.90	P.314

ワークショップ　歯科

■日時：12 月 2 日（日）10：00 ～ 10：50
■会場：第 4 会場
（大阪国際会議場 10 階 1008）

WSD　歯科受診が契機で HIV 感染症が判明した症例

座長　連　利隆
（兵庫県立柏原病院歯科口腔外科）

前田憲昭
（医療法人 社団皓歯会）

WSD-1　口内炎を主訴として開業歯科から紹介となったエイズ症例―口腔内病変の早期診断と標準予防策の重要性―

後藤　哲[1)]、平山聞一[1)]、伊藤俊広[2)]
1）国立病院機構　仙台医療センター　歯科口腔外科
2）国立病院機構　仙台医療センター　感染症内科

WSD-2　難治性口内炎を契機にいわゆる「いきなり AIDS」が判明し経過観察可能であった 1 例

平島惣一[1)]、宮脇昭彦[1)]、齋藤和義[2)]、田中美佐子[3)]、稲村由香[4)]、野田雅美[5)]
1）産業医科大学病院　歯科口腔外科
2）戸畑総合病院　総合内科　膠原病リウマチ科
3）産業医科大学病院　看護部
4）産業医科大学病院　薬剤部
5）産業医科大学病院　事務部　患者サービス室

WSD-3　HIV 感染症が判明する前に口腔症状の見られた症例の検討

永井孝宏[1)]、児玉泰光[1)]、黒川　亮[1)]、山田瑛子[1)]、川口　玲[2)]、茂呂　寛[3)]、高木律男[1)]
1）新潟大学大学院医歯学総合研究科　顎顔面口腔外科学分野
2）新潟大学医歯学総合病院　看護部・感染管理部
3）新潟大学医歯学総合病院　感染管理部

WSD-4　口腔カンジダ症が HIV 感染発見の契機となった症例の検討

宇佐美雄司[1)]、宮本大模[2)]、萩野浩子[1)]
1）名古屋医療センター歯科口腔外科
2）名古屋市立大学大学院医学研究科　生体機能・構造医学専攻　感覚器・形成医学講座　口腔外科学分野

WSD-5　口腔症状を契機に HIV 感染症と診断した 2 例

黒田　卓[1)]、連　利隆[2)]、村山　敦[1)]、首藤敦史[1)]、姜　良順[1)]、大石建三[3)]
1）医療法人徳洲会　岸和田徳洲会病院　歯科口腔外科
2）兵庫県立柏原病院　歯科
3）大阪市立総合医療センター　口腔外科

WSD-6　歯科受診を契機に HIV 感染症が判明した 1 例

有家　巧、鹿野　学
独立行政法人国立病院機構　大阪医療センター　口腔外科

■日時：12 月 2 日（日）9：00 ～ 9：50
■会場：第 2 会場
（大阪国際会議場 10 階 1001）

01　看護 1

座長　**中濱智子**
国立病院機構大阪医療センター　看護部

城﨑真弓
九州医療センター

01-001　長野県エイズ治療拠点病院の通院 HIV 陽性者に対するアンケート調査より（1）～これから高齢期を迎える HIV 陽性者のニーズに寄り添い治療や支援につなげる～

関きく江[1)]、山田千恵子[1)]、原　澄子[1)]、原田美貴子[1)]、宮島寛幸[1)]、島田芙実子[1)]、藤川祐子[2)]、金井信一郎[3)]、北野喜良[4)]、遠山千絵美[5)]、鄭　真徳[6)]、塚平晃弘[7)]、毛内寛子[8)]、蜂谷　勤[9)]、山崎善隆[1)]

1）長野県立信州医療センター
2）東北医科薬科大学 医学部
3）信州大学医学部付属病院
4）国立病院機構 まつもと医療センター 松本病院
5）国立病院機構 信州上田医療センター
6）佐久総合病院
7）飯田市立病院
8）長野赤十字病院
9）諏訪赤十字病院

01-002　長野県エイズ治療拠点病院の通院 HIV 陽性者に対するアンケート調査より（2）～アンケートの自由記載からわかった HIV 陽性者の思い～

山田千恵子[1)]、関きく江[1)]、原　澄子[1)]、原田美貴子[1)]、宮島寛幸[1)]、島田芙実子[1)]、藤川祐子[2)]、金井信一郎[3)]、小林和代[4)]、遠山千絵美[5)]、三辻　賢[6)]、桜井一彰[7)]、毛内寛子[8)]、蜂谷　勤[9)]、山崎善隆[1)]

1）長野県立信州医療センター
2）東北医科薬科大学医学部
3）信州大学医学部附属病院
4）国立病院機構まつもと医療センター松本病院
5）国立病院機構信州上田医療センター
6）佐久総合病院
7）飯田市立病院
8）長野赤十字病院
9）諏訪赤十字病院

01-003　中国・四国ブロック中核拠点病院 HIV 担当看護師の課題 ~HIV 担当看護師会議のアンケートより ~

丸山栄子[1,2)]、池田有里[1)]、宮原明美[1)]、藤井輝久[1)]、品川佳子[3)]、谷岡直子[4)]

1）広島大学病院エイズ医療対策室
2）(公財) エイズ予防財団リサーチレジデント
3）広島市立広島市民病院
4）県立広島病院

01-004　沖縄県内訪問看護師の HIV 感染患者の受け入れ意識に関連する要因の検討

宮城京子[1,2)]、豊里竹彦[2)]、前田サオリ[1)]、健山正男[1)]、大嶺千代美[1)]、藤田次郎[1)]

1）琉球大学医学部附属病院
2）琉球大学大学院保健学研究科

01-005　クリニックにおける HIV 看護の現状と課題

河村祐貴子[1)]、根岸昌功[1)]、河野小夜子[1)]、里　英子[2)]、織田幸子[1)]、西岡春菜[1)]

1）ねぎし内科診療所
2）東京家政大学

■日時：12 月 2 日（日）9：00 ～ 9：50
■会場：第 3 会場
（大阪国際会議場 10 階 1002）

02　検査相談 1

座長　川畑拓也
（地独）大阪健康安全基盤研究所

貞升健志
東京都健康安全研究センター　微生物部

02-006　乾燥ろ紙血を用いた HIV Ag/Ab 検査についての検討

林田庸総[1)]、土屋亮人[1)]、高野　操[1)]、青木孝弘[1)]、潟永博之[1)]、菊地　嘉[1)]、岩橋恒太[2)]、金子典代[3)]、岡　慎一[1)]

1）国立研究開発法人　国立国際医療研究センターエイズ治療・研究開発センター
2）特定非営利活動法人　akta
3）名古屋市立大学　看護学部

02-007　HIV 郵送検査に関する実態調査と検査精度調査（2017）

須藤弘二[1)]、佐野貴子[2)]、近藤真規子[2)]、今井光信[3)]、今村顕史[4)]、加藤真吾[1)]

1）慶應義塾大学医学部　微生物学・免疫学教室
2）神奈川県衛生研究所　微生物部
3）田園調布学園大学
4）がん・感染症センター都立駒込病院　感染症科

02-008　全国の地方衛生研究所を対象とした HIV 検査精度管理の実施

貞升健志[1)]、長島真美[1)]、北村有里恵[1)]、熊谷遼太[1)]、根岸あかね[1)]、松岡佐織[2)]、川畑拓也[3)]、近藤真規子[4)]、草川　茂[2)]、新開敬行[1)]、今村顕史[5]

1）東京都健康安全研究センター　微生物部
2）国立感染症研究所
3）（地独）大阪健康安全基盤研究所
4）神奈川県衛生研究所
5）がん・感染症センター都立駒込病院

02-009　全国地方衛生研究所における HIV 検査実施状況

近藤真規子[1)]、佐野貴子[1)]、長島真美[2)]、貞升健志[2)]、川畑拓也[3)]、加藤真吾[4)]、今村顕史[5)]

1）神奈川県衛生研究所微生物部
2）東京都健康安全研究センター
3）（地独）大阪健康安全基盤研究所
4）慶応義塾大学医学部
5）東京都立駒込病院感染症科

02-010　職域での健診機会を利用した健診センター・人間ドックにおける HIV 検査の現状調査

小島洋子[1)]、川畑拓也[1)]、森　治代[1)]、本村和嗣[1)]、渡邊　大[2)]、大森亮介[3)]、駒野　淳[4)]、福武勝幸[5)]

1）地方独立行政法人 大阪健康安全基盤研究所
2）国立病院機構 大阪医療センター
3）北海道大学 人獣共通感染症リサーチセンター
4）国立病院機構 名古屋医療センター
5）東京医科大学　医学部医学科臨床検査医学分野

■日時：12 月 2 日（日）9：00 ～ 9：50
■会場：第 4 会場
（大阪国際会議場 10 階 1008）

03　母子感染

座長　**外川正生**
大阪市立総合医療センター小児総合診療科・小児救急科

喜多恒和
奈良県総合医療センター　周産期母子医療センター長兼産婦人科

03-011　妊娠中・分娩後に HIV 感染が判明した 194 例の臨床的疫学的解析

杉浦　敦[1)]、竹田善紀[2)]、市田宏司[2)]、中西美紗緒[2)]、箕浦茂樹[2)]、松田秀雄[2)]、高野政志[2)]、桃原祥人[2)]、小林裕幸[2)]、佐久本薫[2)]、太田　寛[2)]、石橋理子[2)]、藤田　綾[1,2)]、吉野直人[2)]、山田里香[2)]、定月みゆき[2)]、田中瑞恵[2)]、外川正生[2)]、喜多恒和[1,2)]

1）奈良県総合医療センター　産婦人科
2）厚生労働科学研究費補助金エイズ対策政策研究事業「HIV 感染者の妊娠・出産・予後に関する疫学的・コホート的調査研究と情報の普及啓発法の開発ならびに診療体制の整備と均てん化に関する研究妊娠に関する」班

03-012　国立国際医療研究センター（NCGM）における HIV 感染妊婦の転機と出産場所に関する検討

杉野祐子[1)]、木下真里[1)]、小山美樹[1)]、谷口　紅[1)]、池田和子[1)]、大金美和[1)]、中西美紗緒[2)]、潟永博之[1)]、菊池　嘉[1)]、定月みゆき[2)]、岡　慎一[1)]

1）国際医療研究センターエイズ治療・研究開発センター
2）国立国際医療研究センター産婦人科

03-013　小児 HIV 感染症の発生動向と今後の課題

田中瑞恵[1)]、外川正生[2)]、兼重昌夫[1,2)]、細川真一[2)]、前田尚子[2)]、寺田志津子[2)]、七野浩之[1)]、吉野直人[2)]、杉浦　敦[2)]、喜多恒和[2)]

1）国立国際医療研究センター小児科
2）エイズ対策政策研究事業「HIV 感染者の妊娠・出産・予後に関する疫学的・コホート的調査研究と情報の普及啓発法の開発ならびに診療体制の整備と均てん化に関する研究」班（母子感染研究班）

03-014　妊娠初期 HIV スクリーニング検査陰性例から生じた母子感染に関する検討

桃原祥人[1)]、杉浦　敦[2)]、竹田善紀[2)]、市田宏司[2)]、中西美紗緒[2)]、箕浦茂樹[2)]、松田秀雄[2)]、高野政志[2)]、小林裕幸[2)]、佐久本薫[2)]、太田　寛[2)]、石橋理子[2)]、藤田　綾[2)]、吉野直人[2)]、山田里香[2)]、定月みゆき[2)]、田中瑞恵[2)]、外川正生[2)]、喜多恒和[2)]

1）都立大塚病院　産婦人科
2）厚生労働科学研究費補助金エイズ対策政策研究事業「HIV 感染者の妊娠・出産・予後に関する疫学的・コホート的調査研究と情報の普及啓発法の開発ならびに診療体制の整備と均てん化に関する研究妊娠に関する」班

03-015　HIV 感染妊娠に関する診療ガイドライン初版と HIV 母子感染予防対策マニュアル第 7 版の比較

山田里佳[1,2)]、喜多恒和[2)]、吉野直人[2)]、杉浦　敦[2)]、田中瑞恵[2)]、定月みゆき[2)]、桃原祥人[2)]、谷口晴記[2)]、塚原優己[2)]、井上孝美[2)]、千田時弘[2)]、大里和広[2)]、中西　豊[2)]、白野倫徳[2)]、鳥谷部邦明[2)]、杉野祐子[2)]、羽柴知恵子[2)]、出口雅士[2)]

1）JA 愛知厚生連海南病院
2）厚労科研エイズ対策政策研究事業 HIV 感染者の妊娠、出産、予後に関する疫学的、コホート的調査研究と情報の普及啓発法の開発ならびに診療体制の整備と均てん化に関する研究班

■日時：12 月 2 日（日）9：00 ～ 9：40
■会場：第 6 会場
（大阪国際会議場 12 階 1202）

04　新薬開発

座長　前田賢次
国立国際医療研究センター　研究所
難治性ウイルス感染症研究部　レトロウイルス感染症研究室

吉永智一
塩野義製薬（株）　創薬・疾患研究所
感染症・免疫部門　HIV 感染症グループ

04-016　極めて強力な抗ウイルス活性を発揮する新規 HIV プロテアーゼ阻害剤の同定とその機序

服部真一朗[1)]、林　宏典[1)]、Bulut Haydar[2)]、長谷川和也[3)]、青木　学[2)]、Ghosh Arun K.[4)]、満屋裕明[1,2,5)]

1）国立国際医療研究センター研究所
2）National Cancer Institute・National Institutes of Health
3）高輝度光化学センター・タンパク室結晶解析推進室
4）Departments of Chemistry and Medicinal Chemistry・Purdue University
5）熊本大学・総合臨床研究部

04-017　極めて強力な抗 HIV 活性を発揮する新規プロテアーゼ阻害剤 GRL-142/ KU-241 の同定及びその SIVmac251 感染サルにおける抗ウイルス効果

鍬田伸好[1)]、青木　学[1,2)]、Viraj Kulkarni[3)]、服部真一朗[1)]、青木宏美[2)]、林　宏典[1)]、城野博史[4)]、山川佑可子[4)]、前田賢次[1)]、刈谷龍昇[5)]、岡田誠治[5)]、Arun K. Ghosh[6)]、Ruth M. Ruprecht[3)]、満屋裕明[1,2,7)]

1）国立国際医療研究センター研究所・難治性ウイルス感染症研究部
2）NCI, NIH
3）Dept of Virology and Immunology, Texas Biomedical Research Institute
4）熊大医学部附属病院薬剤部
5）熊大エイズ学研究センター岡田プロジェクト研究室
6）Dept of Chemistry and Medicinal Chemistry, Purdue University
7）熊大総合臨床研究部・研究展開センター

04-018　ウイルスポリメラーゼの不可逆阻害を目指した新規 2'-& βセレノ核酸アナログの創製

村上　努[1)]、木村康明[2)]、新美結士[2)]、藤野真之[1)]、片倉秀雄[2)]、鈴木哲朗[3)]、児玉栄一[4)]、阿部　洋[2)]

1）国立感染症研究所エイズ研究センター
2）名古屋大学大学院理学研究科
3）浜松医科大学医学部医学科
4）東北大学災害科学国際研究所

04-019　網羅的 Env 標的阻害剤ライブラリーの構築 -3

原田恵嘉[1)]、野村　渉[2)]、鳴海哲夫[3)]、横山　勝[4)]、前田賢次[5)]、竹内怜音[3)]、紺野奇重[2)]、引地優太[1)]、佐藤裕徳[4)]、玉村啓和[2)]、俣野哲朗[1)]、吉村和久[1)]

1）国立感染症研究所 エイズ研究センター
2）東京医科歯科大学 生体材料工学研究所 生体機能分子研究部門
3）静岡大学大学院 総合科学技術研究科工学専攻
4）国立感染症研究所 病原体ゲノム解析研究センター
5）国立国際医療研究センター研究所 難治性ウイルス感染症研究部

■日時：12 月 2 日（日）10：00 ～ 10：50
■会場：第 2 会場
（大阪国際会議場 10 階 1001）

05　看護 2

座長　**佐々木晃子**
国立病院機構仙台医療センター　看護部

関矢早苗
がん・感染症センター都立駒込病院

05-020　HIV 感染が分かり初回入院となった患者・家族の心境をコーンの危機受容モデルをもとに振り返った一例

小林路世 [1)]、門屋光実 [2)]、中館舞子 [2)]、小粥美香 [1)]、小林康司 [1)]
1）東京大学医科学研究所附属病院
2）元東京大学医科学研究所附属病院

05-021　独居高齢患者の意思に添った対応への振り返り

高山次代 [1)]、山下美津江 [2)]、北野美雪 [3)]、小谷岳春 [4)]
1）石川県立中央病院看護部
2）石川県立中央病院患者総合支援センター
3）きじま在宅介護センター
4）石川県立中央病院血液内科

05-022　生活習慣病を併発している HIV 陽性者の生活習慣に対する意識変化

東　政美 [1)]、中濱智子 [1)]、下司有加 [2)]、武部美紀 [1)]、伊藤文代 [1)]、白阪琢磨 [1)]
1）独立行政法人国立病院機構大阪医療センター
2）独立行政法人国立病院機構神戸医療センター

05-023　看護師によるセクシャルヘルス支援を困難にしている要因についてのアンケート調査

小林路世、福田あかり、小林康司
東京大学医科学研究所附属病院　看護部

05-024　HIV 感染症患者の退院支援に関する研究

中村和希、小池ゆかり、大脇佳苗、布施諒子、中西彩葉
滋賀医科大学医学部附属病院看護部

■日時：12 月 2 日（日）10：00 ～ 11：00
■会場：第 3 会場
（大阪国際会議場 10 階 1002）

06　検査相談 2

座長　**金子典代**
名古屋市立大学　看護学部　国際保健看護学

岩橋恒太
特定非営利活動法人 akta

06-025　AV 出演者の性感染症予防についての日本プロダクション協会の取り組み

中山美里 [1)]、**小田島純** [2)]

1）社団法人日本プロダクション協会
2）医療法人社団新吉原会　新吉原検診所

06-026　保健所・検査所における梅毒検査実施状況および陽性率に関するアンケート調査

土屋菜歩 [1)]、**佐野貴子** [2)]、**近藤真規子** [2)]、**堅多敦子** [3)]、**石丸雄二** [4)]、**城所敏英** [5)]、**カエベタ亜矢** [6)]、**川畑拓也** [7)]、**貞升健志** [8)]、**須藤弘二** [9)]、**加藤真吾** [9)]、**大木幸子** [10)]、**今井光信** [11)]、**今村顕史** [12)]

1）東北大学東北メディカル・メガバンク機構
2）神奈川県衛生研究所
3）東京都福祉保健局
4）豊島区池袋保健所
5）東京都南新宿検査・相談室
6）新宿区保健所
7）地方独立行政法人大阪健康安全基盤研究所
8）東京都健康安全研究センター微生物部
9）慶應義塾大学医学部
10）杏林大学保健学部
11）田園調布学園大学
12）田園調布学園大学

06-027　東京都南新宿検査・相談室における外国人および STI 相談への対応について

宮腰辰男 [1,2)]、**矢永由里子** [1,3)]、**今井朋実** [1)]、**小沼和広** [1)]、**川畑貴子** [1)]、**櫻井具子** [1,4)]、**角田洋隆** [1)]、**城所敏英** [1)]

1）東京都南新宿検査相談室
2）大正大学カウンセリング研究所
3）慶応義塾大学医学部感染制御センター
4）遠藤嗜癖問題相談室

06-028　MSM 向けクラブイベント来場者における HIV 検査未受検者の特性

本間隆之 [1)]、**岩橋恒太** [2)]、**金子典代** [3)]、**高久道子** [3)]、**荒木順子** [2)]、**木南拓也** [2)]、**阿部甚平** [2)]、**藤原孝大** [2)]

1）山梨県立大学看護学部
2）特定非営利活動法人 akta
3）名古屋市立大学看護学部

06-029　インターネットを利用した検査予約システム導入前後における受検者動向の変化

大郷宏基 [1)]、**中瀬克己** [2)]、**幸田　進** [3)]、**桜井健司** [1)]、**石神　亙** [1)]

1）特定非営利活動法人 HIV と人権・情報センター
2）吉備国際大学保健医療福祉学部
3）有限会社ビッツシステム

06-030　NPO と協働した HIV 検査相談研修会の効果についての検討

喜花伸子 [1,2)]、**杉本悠貴恵** [1,3)]、**内野悌司** [4)]、**早坂典生** [5)]、**栗栖茂** [5)]、**藤井輝久** [1,2)]

1）広島大学病院エイズ医療対策室
2）広島大学病院輸血部
3）（公財）エイズ予防財団
4）広島修道大学健康科学部
5）特定非営利活動法人りょうちゃんず

■日時：12 月 2 日（日）10：00 ～ 10：50
■会場：第 6 会場
（大阪国際会議場 12 階 1202）

07 薬剤耐性

座長　杉浦　亙
Viiv Healthcare

吉村和久
熊本大学エイズ学研究センター

07-031 ドルテグラビルに対する HIV-1 耐性獲得の分子機構の解明

蜂谷敦子[1)]、Karen A. Kirby[2)]、
大出裕高[1)]、Maritza Puray-Chavez[3)]、
久保田舞[1)]、重見　麗[1)]、岡崎玲子[1)]、
松田昌和[1)]、今橋真弓[1)]、杉浦　亙[1)]、
横幕能行[1)]、岩谷靖雅[1)]、
Stefan G. Sarafianos[2)]

1）（独）国立病院機構　名古屋医療センター　臨床研究センター
2) Emory University School of Medicine
3) University of Missouri School of Medicine

07-032 Analysis of the envelope gene in the patient treated with maraviroc

Kaung Htet Lin、Kuwata Takeo、
Thida Win、Shimizu Mikiko、
Kawanami Yoko、Matsushita Shuzo、
Center for AIDS Research, Kumamoto University

07-033 リムーバブル阻害剤の薬剤感受性試験への新規利用法

日高興士[1,2)]、安達基泰[3)]、北條恵子[1,2)]、
津田裕子[1,2)]

1）神戸学院大学薬学部
2）神戸学院大学 LSC
3）量子科学技術研究開発機構

07-034 薬剤耐性変異解析から得られた HIV-1 成熟過程における HIV-1 インテグラーゼ多量体形成と HIV-1RNA 相互作用の重要性

中村朋文[1)]、天野将之[1)]、宮川寿一[1)]、
松岡雅雄[1,3)]、満屋裕明[2)]、中田浩智[1)]

1）熊本大学大学院生命科学研究部、血液、膠原病、感染症内科
2）国際医療研究センター・難治性ウイルス感染症
3）京都大学ウイルス・再生医科学研究所ウイルス制御分野

07-035 コンゴ民主共和国北東部オリエンタル州 Isiro における初の HIV 分子疫学調査と薬剤耐性変異解析

井戸栄治[1)]、Ahuka Steve[2,3)]、
Bokiya Meraka[4)]、Karhemere Stomy[2)]、
伊吹謙太郎[5)]、
Muyembe Jean-Jacques[2,3)]

1）千葉大学大学院医学研究院
2) National Institute of Biomedical Research, DRC
3) University of Kinshasa, DRC
4) Isiro Provincial AIDS Program, DRC
5）京都大学大学院医学研究科

■日時：12 月 2 日（日）14：00 ～ 14：50
■会場：第 3 会場
（大阪国際会議場 10 階 1002）

08　生活習慣病 1（脂質・炎症）

座長　矢倉裕輝
国立病院機構　大阪医療センター　薬剤部

宮川寿一
熊本大学医学部附属病院　血液・膠原病・感染症内科

08-036　高感度 CRP による HIV 感染者の慢性炎症の評価

遠藤知之[1,2]、後藤秀樹[1,2]、荒　隆英[1,3]、吉岡康介[1,3]、宮下直洋[1]、笠原耕平[1]、橋野　聡[2,4]、豊嶋崇徳[1,2]

1）北海道大学病院　血液内科
2）北海道大学病院　HIV 診療支援センター
3）エイズ予防財団
4）北海道大学　保健センター

08-037　抗 HIV 薬とスタチンの併用に関する調査

長島浩二[1]、霧生彩子[1]、押賀充則[1]、早川史織[1]、増田純一[1]、田沼順子[2]、照屋勝治[2]、潟永博之[2]、塚田訓久[2]、寺門浩之[1]、菊池　嘉[2]、岡　慎一[2]

1）国立国際医療研究センター病院　薬剤部
2）国立国際医療研究センター　エイズ治療・研究開発センター

08-038　HIV 感染症における積極的脂質低下療法抵抗性の冠動脈不安定プラークの冠動脈 CT アンギオグラフィーを用いた診断と抗 PCSK9 抗体製剤を用いた治療

平井愛山[1]、藤村光治[2]、景山貴洋[2]

1）千葉県循環器病センター　総合診療内科
2）千葉県循環器病センター　放射線科

08-039　HIV 感染者における血漿 Pentraxin3 濃度と生活習慣病

南　留美、高濱宗一郎、小松真梨子、城崎真弓、長与由紀子、犬丸真司、山本政弘

国立病院機構　九州医療センター

08-040　HIV 陽性男性の長期療養に伴う合併症管理の効果と今後の課題～ BMI、脂質・糖代謝異常を中心に～

平野　淳[1]、加藤万理[1]、福島直子[1]、川口しおり[1]、松本千鶴[1]、小暮あゆみ[2]、中畑征史[2]、今橋真弓[3]、今村淳治[3]、蜂谷敦子[4]、岩谷靖雅[4]、中井正彦[1]、横幕能行[3]

1）名古屋医療センター　薬剤部
2）名古屋医療センター　感染症科
3）名古屋医療センター　エイズ治療開発センター
4）名古屋医療センター　臨床研究センター　感染・免疫研究部

■日時：12 月 2 日（日）14：00 ～ 14：50
■会場：第 4 会場
（大阪国際会議場 10 階 1008）

09　抗 HIV 療法 1

座長　**澤田暁宏**
兵庫医科大学　血液内科

天野景裕
東京医科大学　臨床検査医学分野

09-041　当院における HIV/ 結核合併患者の ART 選択の検討

加藤万理[1)]、**平野　淳**[1)]、**川口しおり**[1)]、**福島直子**[1)]、**今橋真弓**[2)]、**今村淳治**[3)]、**蜂谷敦子**[2)]、**岩谷靖雅**[2)]、**中井正彦**[1)]、**横幕能行**[3)]

1）国立病院機構名古屋医療センター薬剤部
2）国立病院機構名古屋医療センター　臨床研究センター感染・免疫研究部
3）国立病院機構名古屋医療センター　エイズ治療開発センター

09-042　当院での STR(single tablet regimen) への変更状況

森下和美、近藤昌子、吉田康秀
沼津市立病院　薬剤部

09-043　抗 HIV 療法と服薬援助のための基礎的調査ー治療開始時の抗 HIV 薬処方動向調査（2018 年）

日笠　聡[1)]、**小島賢一**[2)]、**増田純一**[3)]、**関根祐介**[4)]

1）兵庫医科大学血液内科
2）荻窪病院血液科
3）国立国際医療研究センター病院
4）東京医科大学病院　薬剤部

09-044　抗 HIV 療法と服薬援助のための基礎的調査ー抗 HIV 薬の薬剤変更状況調査（2018 年）

小島賢一[1)]、**日笠　聡**[2)]、**増田純一**[3)]、**関根祐介**[4)]

1）荻窪病院血液凝固科
2）兵庫医科大学血液内科
3）国立国際医療研究センター病院 医薬品情報室
4）東京医科大学病院　薬剤部

09-045　代謝酵素阻害作用を有する抗 HIV 薬とステロイド剤との薬物相互作用に関する調査

嶺　豊春、室　高広、兒玉幸修、中村忠博、佐々木均
長崎大学病院薬剤部

■日時：12 月 2 日（日）14：00 ～ 14：50
■会場：第 6 会場
（大阪国際会議場 12 階 1202）

010　免疫

座長　**山本浩之**
国立感染症研究所エイズ研究センター

横田恭子
東京工科大学　医療保健学部　臨床検査学科

010-046 液体クロマトグラフィータンデム質量分析装置（LC-MS/MS）による HIV-1 T 細胞エピトープの同定

近田貴敬[1)]、Paes Wayne[2)]、赤星智寛[1)]、Partridge Tom[2)]、潟永博之[1,3)]、岡　慎一[1,3)]、Ternette Nicola[2)]、Borrow Persephone[2)]、滝口雅文[1)]

1）熊本大学エイズ学研究センター
2）Nuffield Department of Clinical Medicine, University of Oxford, UK
3）国立国際医療研究センター

010-047 HLA-B*35:01 保有者における HIV-1 感染促進の機序の解明

村越勇人[1)]、小柳　円[1)]、赤星智寛[1)]、近田貴敬[1)]、久世　望[1)]、潟永博之[1,2)]、岡　慎一[1,2)]、滝口雅文[1)]

1）熊本大学エイズ学研究センター
2）国立国際医療研究センター　エイズ治療・研究開発センター

010-048 OP9-DL1 共培養系における HIV-1 存在下での $CD34^{+}CD7^{+}CXCR4^{+}$ リンパ前駆細胞の動態

塚本徹雄
近畿大学医学部免疫学教室

010-049 HIV 感染におけるメモリー CD4+T 細胞のメチローム解析

立川（川名）　愛[1)]、細谷（中山）　香[1)]、関　真秀[2)]、堀内映実[2)]、佐藤秀憲[3)]、古賀道子[4)]、鯉渕智彦[3)]、四柳　宏[3,4)]、吉村幸浩[5)]、立川夏夫[5)]、鈴木　穣[2)]、俣野哲朗[1)]

1）国立感染症研究所エイズ研究センター
2）東京大学大学院新領域創成科学研究科メディカル情報生命専攻生命システム観測分野
3）東京大学医科学研究所附属病院感染免疫内科
4）東京大学医科学研究所先端医療研究センター感染症分野
5）横浜市立市民病院感染症内科

010-050 HIV-1 エンベロープ三量体における中和感受性に関連する構造とゆらぎ

横山　勝、佐藤裕徳
国立感染症研究所病原体ゲノム解析研究センター

■日時：12 月 2 日（日） 15：00 ～ 15：50
■会場：第 3 会場
（大阪国際会議場 10 階 1002）

O11　服薬アドヒアランス

座長　**畝井浩子**
広島大学病院　薬剤部

尾崎淳子
京都大学医学部附属病院　薬剤部

O11-051 当薬局におけるｱﾄﾞﾋｱﾗﾝｽ状況の推定と影響を与える因子の検討

迫田直樹[1)]、**堅田陽介**[2)]

1）法円坂メディカル株式会社　法円坂薬局
2）法円坂メディカル株式会社

O11-052 抗 HIV 薬の残薬発生状況と認知機能の関係

合原嘉寿[1,2,3)]、**大石裕樹**[1,2,3)]、**辻麻理子**[2,3)]、**西脇　香**[4)]、**福田雪絵**[4)]、**古田加菜恵**[4)]、**三浦真貴子**[4)]、**浦上秀刀**[4)]、**加留部信介**[5)]、**西野　隆**[1,2,3)]、**山本政弘**[2,3,6)]

1）九州医療センター　薬剤部
2）九州医療センター　AIDS/HIV 総合治療センター
3）九州医療センター　臨床研究センター
4）医療センター前調剤薬局
5）福岡市薬剤師会薬局　百道店
6）九州医療センター　免疫感染症内科

O11-053 当院の HIV 感染患者服薬レジメン別服薬率の検討

宮川寿一[1)]、**中田浩智**[1)]、**天野将之**[1)]、**中村朋文**[1)]、**松岡雅雄**[1)]、**高林　学**[2)]、**田上直美**[2)]、**高木雅敏**[3)]

1）熊本大学医学部附属病院　血液・膠原病・感染症内科、感染免疫診療部
2）熊本大学医学部附属病院　薬剤部
3）熊本大学医学部附属病院　看護部

O11-054 当院における cART 導入時の服薬指導およびカポジ肉腫化療時の薬剤指導経験

関　将行[1)]、**柳　富子**[2)]、**臺　裕子**[1)]

1）東京山手メディカルセンター 薬剤部
2）東京山手メディカルセンター 血液内科

O11-055 薬剤師による小児 HIV 感染症患者への服薬支援

石井聡一郎[1)]、**秋月　萌**[1)]、**藤井健司**[1)]、**藤田啓子**[1)]、**畝井浩子**[1)]、**丸山栄子**[2)]、**高田　昇**[3)]、**山崎尚也**[4)]、**藤井輝久**[2,4)]

1）広島大学病院薬剤部
2）広島大学病院エイズ医療対策室
3）中国電力株式会社中電病院臨床検査科
4）広島大学病院輸血部

■日時：12 月 2 日（日） 15：00 ～ 15：50
■会場：第 4 会場
（大阪国際会議場 10 階 1008）

012　抗 HIV 療法 2

座長　**四本美保子**
東京医科大学病院　臨床検査医学科

宇野健司
南和広域医療企業団　南奈良総合医療センター　感染症内科

012-056 当院におけるコムプレラ R 配合錠への切り替え例の治療経過についての検討

田中智裕 1)、安田明子 1)、成田綾香 1)、
斉藤千鶴 2)、小谷岳春 2)、渡邉珠代 3)

1）石川県立中央病院薬剤部
2）石川県立中央病院血液内科
3）石川県立中央病院免疫感染症科

012-057 NRTI スペアリングレジメンの使用状況と有用性について

内坪敬太 1)、赤沢　翼 1)、押賀充則 1)、
早川史織 1)、増田純一 1)、田沼順子 2)、
照屋勝治 2)、潟永博之 2)、塚田訓久 2)、
寺門浩之 1)、菊池　嘉 2)、岡　慎一 2)

1）国立国際医療研究センター病院　薬剤部
2）国立国際医療研究センター病院　エイズ治療・研究開発センター

012-058 横浜市立市民病院におけるコバス 6800/8800 HIV-1 導入に伴う血漿 HIV-RNA 変化の解析

吉村幸浩、堀内弘司、澤木賢司、宮田順之、
立川夏夫

横浜市立市民病院感染症内科

012-059 抗 HIV 療法開始後 24 ヶ月間の小児免疫状態の改善

畢　袖晴 1)、石崎有澄美 1)、
Nguyen Lam Van 2)、
Nguyen Thanh Binh 2)、
Nguyen Duyen Thi 2)、
Pham Hung Viet 2)、
Phan Chung Thi Thu 2)、
Phung Thuy Thi Bick 2)、
Pham An Nhat 2)、
Khu Dung Thi Khanh 2)、市村　宏 1)

1）金沢大学医学系ウイルス学
2）ハノイ市国立小児病院

012-060 HIV 感染超低体重児に対して ART を行った 1 症例

登佳寿子 1)、土肥麻貴子 1)、土井朝子 2)、
室井延之 1)、橋田　亨 1)

1）神戸市立医療センター中央市民病院　薬剤部
2）神戸市立医療センター中央市民病院　感染症内科

■日時：12 月 2 日（日）15：00 ～ 15：50
■会場：第 6 会場
（大阪国際会議場 12 階 1202）

013　潜伏感染

座長　鈴　伸也
熊本大学 エイズ学研究センター　国際先端医学研究拠点施設

鍬田伸好
国立国際医療研究センター　難治性ウイルス感染症研究部

013-061 piCode Disc 法を応用した高感度 PCR 法による HIV ウイルスリザーバー定量評価法の確立

鈴木一雄[1)]、**石田尚臣**[2)]
1）St Vincent's Centre for Applied Medical Research (AMR)
2）医科学研究所　アジア感染症研究拠点

013-062 HIV 潜伏感染を制御する宿主因子の同定および解析

武内寛明[1)]、**合田　仁**[2)]、**石田尚臣**[2)]、
佐藤賢文[3)]、**岩瀬早織**[3)]、**山岡昇司**[1)]
1）東京医科歯科大学医歯学総合研究科ウイルス制御学
2）東京大学医科学研究所アジア感染症研究拠点
3）熊本大学エイズ学研究センター

013-063 SIV 潜伏感染細胞排除を目指した自然免疫賦活化剤の応用

高濱正吉[1)]、**神沼智裕**[2)]、**岡村智崇**[2)]、
保富康宏[2)]、**山本拓也**[1)]
1）国立研究開発法人　医薬基盤・健康・栄養研究所
2）国立研究開発法人 医薬基盤・健康・栄養研究所 霊長類医科学研究センター

013-064 HIV 潜伏感染細胞を標的とした新規治療薬開発に有効な HIV 持続感染 *in vitro* モデルの開発

松田幸樹[1)]、**MohammadSaiful Islam**[2)]、
服部真一朗[1)]、**土屋亮人**[3)]、**潟永博之**[3)]、
吉村和久[4)]、**岡　慎一**[3)]、**玉村啓和**[5)]、
佐藤賢文[2)]、**満屋裕明**[1,6,7)]、**前田賢次**[1)]
1）国立国際医療研究センター・研究所
2）熊本大学・エイズ学研究センター
3）国立国際医療研究センター・エイズ治療研究開発センター
4）国立感染症研究所・エイズ研究センター
5）東京医科歯科大学・生体材料工学研究所
6）熊本大学総合臨床研究部・研究展開センター
7）NCI/NIH

013-065 新規 PKC 活性化剤 10-Methyl-Aplog-1 と JQ1 の併用は Latency Reversing Agent として理想的な活性を示す

鷲崎彩夏[1)]、**村田めぐみ**[1)]、**関　洋平**[1)]、
Tang Yin Pui[1)]、**寒川裕之**[2)]、
Tan Weikeat[1)]、**入江一浩**[3)]、**明里宏文**[1,2)]
1）京都大学　霊長類研究所
2）京都大学 ウイルス・再生医科学研究所
3）京都大学 大学院農学研究科

■日時：12 月 2 日（日）16：00 ～ 16：50
■会場：第 4 会場
（大阪国際会議場 10 階 1008）

014　カウンセリング

座長　**山中京子**
大阪府立大学大学院　人間社会システム科学研究科

宮本哲雄
独立行政法人国立病院機構　大阪医療センター　臨床心理室
HIV/AIDS 先端医療開発センター

014-066 広島大学病院に初回受診した HIV/AIDS 患者の服薬開始までの心理的プロセスついて

杉本悠貴恵[1,2]、**喜花伸子**[1]、**黄　寛美**[9]、**柿本聖樹**[6]、**井上暢子**[3]、**山崎尚也**[3]、**丸山栄子**[1,2]、**宮原明美**[4]、**池田有里**[4]、**村上英子**[1,2]、**石井聡一郎**[5]、**藤田啓子**[5]、**畝井浩子**[5]、**齊藤誠司**[8]、**高田　昇**[7]、**藤井輝久**[1,3]

1）広島大学病院エイズ医療対策室
2）（公財）エイズ予防財団
3）広島大学病院輸血部
4）広島大学病院看護部
5）広島大学病院薬剤部
6）広島大学病院総合診療科
7）中電病院
8）国立病院機構福山医療センター
9）広島県派遣カウンセラー

014-067 HIV 陽性者の行動面の障害を伴う問題の心理的背景に関する研究

水木　薫[1]、**安尾利彦**[1]、**西川歩美**[1]、**白阪琢磨**[2]

1）国立病院機構大阪医療センター　臨床心理室
2）大阪医療センター　HIV/AIDS 先端医療開発センター

014-068 HIV 陽性者に対するカウンセリング効果の実証的研究―薬物依存症男性の事例を通して―

山本喜晴[1]、**田中史子**[2]、**荒木浩子**[3]、**市原有希子**[4]、**井上洋士**[5]、**大澤尚也**[6]、**清水亜紀子**[7]、**高橋紗也子**[8]、**仲倉高広**[9]、**野田実希**[6]、**古野裕子**[10]、**山崎基嗣**[6]、**大山泰宏**[11]

1）関西国際大学人間科学部
2）人間環境大学人間環境学部
3）追手門学院大学心理学部
4）神戸女学院大学カウンセリングルーム
5）（株）アクセライト
6）京都大学大学院教育学研究科博士後期課程
7）京都市立病院
8）社会医療法人かりゆし会ハートライフクリニック
9）京都橘大学健康科学部
10）におの浜クリニック
11）放送大学教授（京都大学大学院教育学研究科研究員）

014-069 薬害被害者の心理的支援方法の検討

山田富秋[1]、**橋本　謙**[2]、**種田博之**[3]、**入江恵子**[4]、**小川良子**[6]、**早坂典生**[2]、**藤原　都**[2]、**白阪琢磨**[5]

1）松山大学人文学部社会学科
2）特定非営利活動法人りょうちゃんず
3）産業医科大学
4）九州国際大学
5）国立病院機構大阪医療センター
6）看護師

014-070 HIV 領域における心理職養成のためのプログラム開発に関する研究

矢永由里子[1]、**石田陽子**[2]、**木村聡太**[3]、**小松賢亮**[3]、**平塚信子**[4]、**宮腰辰男**[5]、**渡邊愛祈**[6]、**長谷川直樹**[1]

1）慶應義塾大学医学部感染制御センター
2）北海道大学病院
3）国立国際医療研究センター病院エイズ治療・研究開発センター
4）滋賀県健康医療福祉部
5）しらかば診療所
6）都立小児総合医療センター

■日時：12 月 2 日（日）17：00 ～ 17：50
■会場：第 4 会場
（大阪国際会議場 10 階 1008）

015　薬害・人権

座長　**大北全俊**
東北大学大学院医学系研究科公衆衛生学専攻
公共健康医学講座　医療倫理学分野

若生治友
NPO 法人　ネットワーク医療と人権

015-071 薬害HIV感染被害患者の長期慢性炎症による健康悪化（第三報）～「かゆみ」「転倒」等の課題発見と支援対応

久地井寿哉、柿沼章子、岩野友里、大平勝美
社会福祉法人はばたき福祉事業団

015-072 生活実態把握と相談支援を通じた薬害 HIV 感染被害患者の生活再生の可能性と課題

岩野友里、柿沼章子、久地井寿哉、大平勝美
社会福祉法人はばたき福祉事業団

015-073 薬害 HIV 感染血友病等患者の施設における受け入れ促進と支援体制の整備

大金美和[1)]、阿部直美[1)]、小山美紀[1)]、
谷口　紅[1)]、木下真里[1)]、杉野祐子[1)]、
中澤　伸[2)]、島田　恵[3)]、柴山志穂美[4)]、
石原美和[5)]、岩野友里[6)]、久地井寿哉[6)]、
柿沼章子[6)]、大平勝美[6)]、池田和子[1)]、
塚田訓久[1)]、田沼順子[1)]、潟永博之[1)]、
菊池　嘉[1)]、岡　慎一[1)]、木村　哲[7)]

1）国立研究開発法人国立国際医療研究センター　エイズ治療研究開発センター
2）社会福祉法人川崎聖風福祉会
3）公立大学法人首都大学東京健康福祉学部看護学科
4）公立大学法人埼玉県立大学保健医療福祉学部看護学科
5）公立大学法人宮城大学看護学群・大学院研究科
6）社会福祉法人はばたき福祉事業団
7）東京医療保健大学

015-074 HIV 感染血液凝固異常症における肝炎の病期と治療状況の推移：2017 年度の調査より

立浪　忍[1)]、天野影裕[2)]、白幡　聡[3)]、
大平勝美[4)]、花井十伍[5)]、杉山真一[6)]、
桑原理恵[7)]、秋田美恵子[8)]、瀧　正志[9)]

1）聖マリアンナ医科大学　医学情報学
2）東京医大臨床検査医学
3）北九州八幡東病院
4）はばたき福祉事業団
5）ネットワーク医療と人権
6）原後綜合法律事務所
7）聖マリアンナ医大臨床研究データセンター
8）聖マリアンナ医大小児科
9）聖マリアンナ医大横浜市西部病院小児科

015-075 当院における臨床倫理委員会の HIV・エイズ診療への関わり；高次脳機能障害を合併し、家人などへの病名告知拒否を表明していた HIV 感染症 2 症例の経験

木藤克之、永井詩穂、寺本由加子、雑賀　渉、
浅井　愛、岩佐磨佐紀、藤城　綾、西村理恵、
河原真大、南口仁志、安藤　朗
滋賀医科大学血液内科

■日時：12 月 2 日（日）17：00 ～ 17：50
■会場：第 5 会場
（大阪国際会議場 10 階 1009）

O16　症例報告 1

座長　古西　満
奈良県立医科大学　健康管理センター

徳川多津子
兵庫医科大学病院　血液内科

O16-076 当院にて経験した小児 HIV 感染症患者の 1 症例

住吉健太[1)]、小坂信二[1)]、川田通子[2)]、
岡田　仁[3)]、窪田良次[4)]、芳地　一[1)]

1）香川大学医学部附属病院　薬剤部
2）香川大学医学部附属病院　看護部
3）香川大学医学部附属病院　小児科
4）香川大学医学部　地域包括医療学講座

O16-077 溶血性貧血を契機に多中心性キャッスルマン病と診断された HIV 感染者の一例

廣田和之[1)]、山本雄大[1)]、渡邊　大[2)]、
北島平太[1)]、寺前晃介[1)]、来住知美[1)]、
上地隆史[1)]、伊熊素子[1)]、西田恭治[1)]、
上平朝子[1)]、白阪琢磨[2)]

1）国立病院機構大阪医療センター感染症内科
2）国立病院機構大阪医療センター臨床研究センターエイズ先端医療研究部

O16-078 早期の抗 HIV 療法導入が奏功した HIV 合併血栓性血小板減少性紫斑病の一例

滝澤あゆみ[1)]、田中　勝[1)]、福島一彰[1)]、
小林泰一郎[1)]、矢嶋敬史郎[1)]、関谷紀貴[2)]、
味澤　篤[1,3)]、今村顕史[1)]

1）がん・感染症センター都立駒込病院感染症科
2）がん・感染症センター都立駒込病院感染制御科
3）東京都立北療育医療センター

O16-079 診断に苦渋し、急激な経過をたどったAIDS 関連非ホジキンリンパ腫の一例

藤友結実子[1,2)]、児玉真衣[1)]、中西雅樹[1)]、
土井恵介[3)]、小阪直史[3)]、辻森あゆみ[4)]、
塚本　拓[5)]、杉谷未央[6)]、名越久朗[7)]、
黒田純也[5)]、藤田直久[1)]

1）京都府立医科大学附属病院　感染症科
2）国立国際医療研究センター病院 AMR 臨床リファレンスセンター
3）京都府立医科大学附属病院薬剤部
4）京都府立医科大学附属病院医療サービス課
5）京都府立医科大学附属病院血液内科
6）松下記念病院血液内科
7）広島大学病院血液内科

O16-080 HIV-HCV 共感染者においてombitasvir/paritaprevir/ritonavirによって劇的に血漿 HIV-RNA が低下した一例

吉村幸浩、堀内弘司、澤木賢司、宮田順之、
立川夏夫

横浜市立市民病院感染症内科

■日時：12 月 3 日（月） 10：00 ～ 10：50
■会場：第 2 会場
（大阪国際会議場 10 階 1001）

O17　分子疫学

座長　岩谷靖雅
独立行政法人国立病院機構名古屋医療センター
臨床研究センター感染・免疫研究部

松岡佐織
国立感染症研究所　エイズ研究センター

017-081 東海ブロックにおける分子疫学的 HIV-1 感染網の特徴

松田昌和[1)]、今橋真弓[1)]、蜂谷敦子[1)]、重見　麗[1)]、岡崎玲子[1)]、矢野邦夫[2)]、鶴見　寿[3)]、奥村暢将[4)]、谷口晴記[5)]、椎野禎一郎[6)]、羽柴知恵子[1)]、今村淳治[1)]、横幕能行[1)]、岩谷靖雅[1,7)]

1）名古屋医療センター
2）浜松医療センター
3）岐阜大学医学部附属病院
4）安城更生病院
5）三重県立総合医療センター
6）国立感染症研究所
7）名古屋大学大学院医学系研究科

017-082 2005 年から 2014 年にかけて福岡県で分離された HIV の解析

中村麻子[1)]、吉冨秀亮[1)]、小林孝行[1)]、芦塚由紀[1)]、梶原淳睦[1)]、世良暢之[2)]、岩佐奈津美[3)]、野口翔平[3)]、和佐野ちなみ[3)]、大島一里[4)]、椎野禎一郎[5)]、松岡佐織[5)]、南　留美[6)]

1）福岡県保健環境研究所
2）帝京大学
3）福岡市保健環境研究所
4）佐賀大学
5）国立感染症研究所
6）国立病院機構九州医療センター

017-083 国内伝播クラスタの検索プログラムの開発2：東海地方で若年層に急速に伝播を広げるクラスタの検出

椎野禎一郎[1)]、蜂谷敦子[2)]、今橋真弓[2,4)]、松田昌和[2)]、岩谷靖雅[2)]、横幕能行[2,4)]、金子典代[3)]、羽柴知恵子[5)]、吉村和久[1)]

1）国立感染症研究所
2）国立病院機構名古屋医療センター臨床研究センター
3）国立病院機構名古屋市立大学看護学部　国際保健看護学
4）国立病院機構名古屋医療センター　感染症内科
5）名古屋医療センター　看護部

017-084 HIV 感染者におけるヘリコバクター・ピロリと胃マイクロバイオームの相互作用

桧垣朱友子[1)]、城戸康年[1,2,3)]、安達英輔[3)]、松本　昴[1)]、岩崎もにか[1)]、松原康郎[4)]、大田泰徳[5)]、佐藤秀憲[3)]、菊地　正[3)]、古賀道子[3)]、鯉渕智彦[3)]、堤　武也[3)]、四柳　宏[3)]、山岡吉生[1)]

1）大分大学医学部環境・予防医学
2）大阪市立大学医学研究科寄生虫学分野
3）東京大学医科学研究所附属病院感染免疫内科
4）東京大学医科学研究所附属病院総合診療科
5）東京大学医科学研究所附属病院病理部

017-085 抗 HIV-1 療法による口腔細菌叢への影響に関する研究

大出裕高[1)]、今橋真弓[1,2,3)]、松田昌和[1)]、濱野章子[1)]、羽柴知恵子[3)]、重見　麗[1)]、岡崎玲子[1)]、蜂谷敦子[1,3)]、今村淳治[1,2,3)]、中畑征史[2,3)]、小暮あゆみ[2,3)]、横幕能行[1,2,3)]、岩谷靖雅[1,3,4)]

1）（独）国立病院機構名古屋医療センター　臨床研究センター感染・免疫研究部
2）（独）国立病院機構名古屋医療センター　感染症科
3）（独）国立病院機構名古屋医療センター　エイズ治療開発センター
4）名古屋大学大学院医学系研究科

■日時：12 月 3 日（月）10：00 ～ 11：00
■会場：第 3 会場
（大阪国際会議場 10 階 1002）

018　HAND

座長　健山正男
琉球大学大学院医学研究科
感染症・呼吸器・消化器内科学講座

小松賢亮
国立研究開発法人　国立国際医療研究センター病院
エイズ治療研究・開発センター

018-086 HIV 陽性者の認知機能低下率と関連因子ーその 1 －

坂本麻衣子[1)]、辻麻理子[2)]、平野植子[2)]、山下結以[2)]、天野昌太郎[3)]、前上里泰史[4)]、松岡亜由子[5)]、松尾純子[6)]、門田隆裕[6)]、中尾　綾[6)]、山之内純[6)]、山本政弘[2)]

1）佐賀大学医学部
2）NHO 九州医療センター、臨床研究センター
3）NHO 肥前精神医療センター
4）NHO 琉球病院
5）NHO 名古屋医療センター
6）飯塚病院
7）愛媛大学医学部付属病院

018-087 HIV 陽性者の認知機能低下率と関連因子ーその 2 －

辻麻理子[1)]、平野植子[1)]、山下結以[1)]、天野昌太郎[2)]、前上里泰史[3)]、松岡亜由子[4)]、松尾純子[5)]、門田隆裕[5)]、中尾　綾[6)]、山之内純[6)]、坂本麻衣子[7)]、山本政弘[1)]

1）NHO 九州医療センター、臨床研究センター
2）NHO 肥前精神医療センター
3）NHO 琉球病院
4）NHO 名古屋医療センター
5）飯塚病院
6）愛媛大学医学部付属病院
7）佐賀大学医学部

018-088 日本人における、2つの HIV 関連認知機能障害スクリーニング検査の cART 非投与群と投与群の比較

上　薫[1)]、健山正男[1)]、金城武士[1)]、Parrott Gretchen[1)]、富永大介[2)]、高橋　愛[3)]、仲村秀太[1)]、宮城京子[4)]、前田サオリ[4)]、藤田次郎[1)]

1）琉球大学医学部附属病院感染症・呼吸器・消化器内科学講座
2）放送大学沖縄学習センター
3）東京大学大学院
4）琉球大学医学部附属病院看護部

018-089 HIV 陽性者に対するアイオワ・ギャンブリング課題ー Net Score で評価してー

中尾　綾[1)]、末盛浩一郎[1)]、山之内純[1)]、竹中克斗[1)]、高田清式[2)]

1）愛媛大学大学院医学系研究科　血液・免疫・感染症内科学
2）愛媛大学医学部附属病院　総合臨床研修センター

018-090 HIV 感染血友病患者の認知機能障害の有病率および関連因子の検討

小松賢亮[1)]、今井公文[2)]、木内　英[1)]、木村聡太[1)]、霧生瑶子[1)]、渡邊愛祈[3)]、小形幹子[1)]、阿部直美[1)]、大金美和[1)]、菊池　嘉[1)]、岡　慎一[1)]、木村　哲[4)]

1）国立国際医療研究センター病院 エイズ治療・研究開発センター
2）国立国際医療研究センター病院 精神科
3）東京都立小児総合医療センター
4）東京医療保健大学

018-091 HIV 関連神経認知障害（HAND）と脳構造

加藤賢嗣[1)]、吉原雄二郎[1)]、渡邊　大[2)]、福本真司[3)]、和田恵子[2)]、安尾利彦[2)]、白阪琢磨[2)]、村井俊哉[1)]

1）京都大学大学院医学研究科　脳病態生理学講座　精神医学
2）国立病院機構大阪医療センター
3）国立循環器病センター

■日時：12 月 3 日（月） 10：00 ～ 10：50
■会場：第 4 会場
（大阪国際会議場 10 階 1008）

019　日和見感染

座長　松尾裕央
兵庫県立尼崎総合医療センター　ER 総合診療センター
感染症内科（ER 総合診療科）

上平朝子
独立行政法人　国立病院機構　大阪医療センター
感染症内科

019-092 HIV 感染症における播種性マイコバクテリウム感染症のリスク因子の検討

工藤由佳[1)]、福島一彰[1)]、田中　勝[1)]、小林泰一郎[1)]、矢嶋敬史郎[1)]、関谷紀貴[2)]、味澤　篤[1,3)]、今村顕史[1)]

1）がん・感染症センター都立駒込病院　感染症科
2）がん・感染症センター都立駒込病院　感染制御科
3）東京都立北療育医療センター

019-093 免疫再構築症候群を契機に診断された M.tilburgii 感染症の一例

三須恵太[1)]、岡　慎一[1)]、菊池　嘉[1)]、塚田訓久[1)]、潟永博之[1)]、照屋勝治[1)]、田沼順子[1)]、矢崎博久[1)]、渡辺恒二[1)]、青木孝弘[1)]、水島大輔[1)]、柳川泰昭[1)]、上村　悠[1)]、御手洗聡[2)]、近松絹代[2)]

1）国立国際医療研究センター病院 治療・研究開発センター
2）長崎大学大学院医歯薬学総合研究科基礎抗酸菌症学 結核予防会結核研究所抗酸菌部

019-094 エイズ患者における播種性 Mycobacterium genavense 感染症

森　伸晃、大熊謙太朗、吉田心慈、本田美和子

国立病院機構東京医療センター　総合内科

019-095 細胞性免疫能が低下した HIV-1 感染者における LDH とβ -D グルカンのニューモシスチス肺炎の診断能評価

上地隆史[1)]、渡邊　大[2)]、北島平太[1)]、寺前晃介[1)]、来住知美[1)]、廣田和之[1)]、伊熊素子[1)]、西田恭治[1)]、上平朝子[1)]、白阪琢磨[2)]

1）国立病院機構大阪医療センター　感染症内科
2）国立病院機構大阪医療センター　臨床研究センターエイズ先端医療研究部

019-096 水痘・帯状疱疹ウイルスによる免疫再構築症候群で多発脳神経麻痺をきたした HIV 感染者の一例

関谷綾子[1)]、宮下竜伊[1)]、上久保淑子[1)]、一木昭人[1)]、近澤悠志[1)]、備後真登[1)]、村松　崇[1)]、横田和久[1)]、四本美保子[1)]、萩原　剛[1)]、天野景裕[1,2)]、福武勝幸[1,2)]

1）東京医科大学病院臨床検査医学科
2）東京医科大学　血液凝固異常症遺伝子研究寄付講座

■日時：12 月 3 日（月） 11：00 ～ 11：50
■会場：第 2 会場
（大阪国際会議場 10 階 1001）

020　教育・行動科学・意識調査

座長　日高庸晴
宝塚大学　看護学部

宮城京子
琉球大学医学部附属病院

020-097 都内日本語学校の留学生の HIV に関する主観的感染リスクと HIV 検査受検の状況

北島　勉[1)]、沢田貴志[2)]、宮首弘子[3)]、Shakya Prakash[4,5)]

1）杏林大学総合政策学部
2）神奈川県労働者医療生活協同組合港町診療所
3）杏林大学外国語学部
4）杏林大学
5）エイズ予防財団

020-098 繁華街の若者における HIV 感染リスク行動とコンドーム不使用の理由～クラブ調査の結果より～

松高由佳[1)]、大串晃弘[2)]、高橋篤信[3)]、合田友美[2)]、日高庸晴[2)]

1）比治山大学現代文化学部社会臨床心理学科
2）宝塚大学看護学部
3）訪問看護ステーション ベルキャット

020-099 セクシュアリティの多様性を組み込んだエイズ教育プログラムの検討

飯田昌子

鹿児島大学法文教育学域

020-100 拠点病院から発信する過去3年における地域病院・施設への HIV・AIDS 講習会を通し地域教育に向けて今後のあり方を考える

高橋由起子[1)]、柴崎智代子[1)]、塚本美沙子[1)]、櫻橋信行[2)]、平野陽一郎[2)]、中村　朗[3)]

1）地方独立行政法人　総合病院国保旭中央病院　看護局
2）地方独立行政法人　総合病院国保旭中央病院　医療連携福祉相談室
3）地方独立行政法人　総合病院国保旭中央病院　感染症科

020-101 通院中断はどうすれば防げるか？当院における通院中断症例の解析

白野倫徳[1)]、小西啓司[1,2)]、麻岡大裕[1)]、笠松　悠[1)]、市田裕之[2)]、尾西江美子[3)]、豊島裕子[3)]、大石真綾[4)]、瀧浦その子[4)]、後藤哲志[1)]

1）大阪市立総合医療センター感染症内科
2）大阪市立総合医療センター薬剤部
3）大阪市立総合医療センター看護部
4）大阪市立総合医療センター医療技術部

■日時：12 月 3 日（月） 11：10 ～ 11：50
■会場：第 3 会場
（大阪国際会議場 10 階 1002）

021　医療体制 1

座長　藤井輝久
広島大学　病院輸血部　輸血部

池田和子
国立国際医療研究センター病院エイズ治療･研究開発センター

021-102 低 CD4 数や有症状の HIV 患者における ART 開始時の多職種による検査・教育入院プログラムの有用性

笠松　悠[1)]、白野倫徳[1)]、小西啓司[1)]、麻岡大裕[1)]、後藤哲志[1)]、市田裕之[2)]、滝浦その子[3)]、大石真綾[3)]、内山良則[4)]、松下文香[5)]、豊島裕子[5)]、王　美玲[5)]

1）大阪市立総合医療センター　感染症内科
2）同　薬剤部
3）同　医療技術部
4）同　リハビリテーション科
5）同　看護部

021-103 HIV 陽性者のかかりつけ医への通院状況

細川陸也[1)]、井上洋士[2,3)]、戸ヶ里泰典[2)]、高久陽介[4)]、若林チヒロ[5)]、阿部桜子[6)]、塩野徳史[7)]、米倉佑貴[8)]、片倉直子[9)]、山内麻江[10)]、大島　岳[11)]、大木幸子[12)]

1）名古屋市立大学看護学部
2）放送大学
3）（株）アクセライト
4）NPO 法人日本HIV陽性者ネットワーク・ジャンププラス
5）埼玉県立大学
6）TIS（株）
7）大阪青山大学
8）聖路加国際大学
9）神戸市看護大学
10）了徳寺大学
11）一橋大学大学院
12）杏林大学

021-104 HIV 感染症における保険薬局との病薬連携に関する検討～千葉県内の保険薬局を対象とした実態調査～

渡部智貴[1)]、築地茉莉子[2)]、谷口俊文[3)]、金田　暁[4)]、猪狩英俊[3)]

1）国立病院機構千葉医療センター薬剤部
2）千葉大学医学部附属病院薬剤部
3）千葉大学医学部附属病院感染制御部
4）国立病院機構千葉医療センター内科

021-105 日本での公費負担制度取得に苦慮した 1 留学生症例

関　義信、中島　勝
新潟大学地域医療教育センター･魚沼基幹病院

■日時：12 月 3 日（月） 11：00 ～ 11：50
■会場：第 4 会場
（大阪国際会議場 10 階 1008）

O22　症例報告 2・STD

座長　塚田訓久
国立国際医療研究センター病院　エイズ治療・研究開発センター

松浦基夫
堺市立総合医療センター　腎代謝免疫内科

O22-106 HIV 非感染 MSM コホートにおける HIV、梅毒、肛門淋菌およびクラミジア・トラコマティス感染症の罹患率に関する検討（続報）

水島大輔[1)]、高野　操[1)]、上村　悠[1)]、柳川泰昭[1)]、青木孝弘[1)]、渡辺恒二[1)]、潟永博之[1,2)]、菊池　嘉[1)]、岡　慎一[1,2)]
1）国立国際医療研究センター
2）熊本大学エイズ学研究センター

O22-107 当院における梅毒の状況　―梅毒特異的遺伝子検査の応用を含めて―

吉田　敦、平山江美、水島　遼、板倉泰朋、井口成一、古賀一郎、平井由児、鎌田啓佑、菊池　賢
東京女子医科大学感染症科

O22-108 腰椎穿刺を施行した HIV 感染症合併梅毒症例の検討

笠松亜由[1)]、福島一彰[1)]、田中　勝[1)]、小林泰一郎[1)]、矢嶋敬史郎[1)]、関谷紀貴[2)]、味澤　篤[3)]、今村顕史[1)]
1）がん・感染症センター都立駒込病院　感染症科
2）がん・感染症センター都立駒込病院　感染制御科
3）東京都立北療育医療センター

O22-109 IRIS として橋本病を発症した HIV 感染症の 1 例

村田昌之、加勢田富士子、松本佑慈、高山耕治、豊田一弘、小川栄一、古庄憲浩
九州大学病院総合診療科

O22-110 高容量リポソーマルドキソルビシン投与下の心筋病理所見

鈴木　潤、外島正樹、森澤雄司
自治医科大学附属病院感染症科

■日時：12 月 3 日（月）16：30 ～ 17：10
■会場：第 2 会場
（大阪国際会議場 10 階 1001）

023　構造と感染機構 1

座長　横山　勝
国立感染症研究所病原体ゲノム解析研究センター

大出裕高
独立行政法人国立病院機構　名古屋医療センター
臨床研究センター

023-111 An Investigation on the Potential Role of HIV-Host Chimeric Transcripts in Maintaining the Latent Reservoir

Tan Benjy Jek Yang [1,2,3]、Iwase Saori [2,3]、Katsuya Hiroo [2]、Miyazato Paola [2]、Islam Saiful [1,2,3]、Maeda Kenji [4]、Matsushita Shuzo [1]、Satou Yorifumi [1,2]

1) Center for AIDS Research, Kumamoto University
2) International Research Center for Medical Sciences, Kumamoto University
3) Graduate School of Medical Sciences, Kumamoto University
4) National Center for Global Health and Medicine
)

023-112 HIV 感染に必要な細胞因子スクリーニングのためのジフテリア毒素と GFP のデュアルスプリットタンパク質の構築

合田　仁 [1]、武内寛明 [2]、石田尚臣 [1]

1）東京大学医科学研究所アジア感染症研究拠点
2）東京医科歯科大学医学部ウイルス制御部門

023-113 HIV-2 Vpx は亜鉛結合部位とポリプロリンモチーフにより発現量を上げる

島垣和功 [1]、古賀涼子 [1]、藤野悠那 [1]、Halil Ibrahim Ciftci [1]、山本充奈美 [1]、大塚雅巳 [1]、山口佳宏 [2]、藤田美歌子 [3]

1）熊本大学大学院薬学教育部生体機能分子合成学分野
2）熊本大学環境安全センター
3）熊本大学薬学部附属創薬研究センター

023-114 Clonal selection of HIV-1-infected cells during ART in an *in vitro* model of persistent infection model

Saiful Islam [1,2]、Matsuda Kouki [3]、Tan Benjy Jek Yang [1,2]、Miyazato Paola [2]、Katsuya Hiroo [2]、Iwase Saori [2]、Maeda Kenji [3]、Satou Yorifumi [1,2]

1) Center for AIDS Research, Kumamoto University
2) International Research Center for Medical Sciences, Kumamoto University
) National Center for Global Health and Medicine Research Institute, Tokyo

■日時：12 月 3 日（月）16：30 ～ 17：20
■会場：第 4 会場
（大阪国際会議場 10 階 1008）

024　肝炎

座長　**萩原　剛**
東京医科大学　臨床検査医学分野

遠藤知之
北海道大学病院　血液内科

024-115 2018 年春に当院通院中の HIV 感染患者に急性 A 型肝炎を発症した 15 例

萩原　剛、横田和久、宮下竜伊、上久保淑子、一木昭人、近澤悠志、備後真登、関谷綾子、金子　誠、四本美保子、天野景裕、福武勝幸
東京医科大学臨床検査医学分野

024-116 当院における 1999 年と 2018 年の A 型肝炎アウトブレイクに関する比較検討

田中　勝[1)]、福島一彰[1)]、小林泰一郎[1)]、矢嶋敬史郎[1)]、関谷紀貴[2)]、味澤　篤[1,3)]、今村顕史[1)]
1）がん・感染症センター都立駒込病院感染症科
2）がん・感染症センター都立駒込病院感染制御科
3）東京都立北療育医療センター

024-117 急性 A 型肝炎に Helicobacter cinaedi 菌血症を合併した HIV 患者の一例

池内和彦、若林義賢、北浦　慧、小林竜也、岡本　耕、奥川　周、森屋恭爾
東京大学医学部附属病院感染症内科

024-118 当院の HIV 感染者における ART 開始後の HBV 関連抗体の推移に関する検討

加勢田富士子[1,2)]、村田昌之[1)]、高山耕治[1)]、豊田一弘[1)]、小川栄一[1)]、古庄憲浩[1)]、林　純[2)]
1）九州大学病院総合診療科
2）原土井病院総合診療科

024-119 薬剤師介入による当院通院中の HIV 感染者における梅毒・B 型肝炎・C 型肝炎の罹患動向の把握と薬剤の適正使用に関する取り組み

野村直幸[1)]、松井綾香[1)]、飯塚暁子[1)]、藤原千尋[1)]、門田悦子[1)]、木梨貴博[1)]、村上由佳[1)]、齊藤誠司[1)]、坂田達朗[1)]、和田秀穂[2)]
1）国立病院機構　福山医療センター　エイズ治療センター
2）川崎医科大学　血液内科学

■日時：12 月 3 日（月）16：30 ～ 17：20
■会場：第 6 会場
（大阪国際会議場 12 階 1202）

025　疫学

座長　**若林チヒロ**
埼玉県立大学

本間隆之
山梨県立大学　看護学部

025-120 自発検査で判明した新規 HIV 感染者の受検動機

来住知美[1)]、**渡邊　大**[1,2)]、**北島平太**[1)]、**寺前晃介**[1)]、**廣田和之**[1)]、**伊熊素子**[1)]、**上地隆史**[1)]、**西田恭治**[1)]、**下司有加**[3)]、**松岡恭子**[4)]、**東　政美**[4)]、**中濱智子**[4)]、**上平朝子**[1)]、**白阪琢磨**[1,2)]

1）国立病院機構大阪医療センター感染症内科
2）国立病院機構大阪医療センター臨床研究センターエイズ先端医療研究部
3）国立病院機構神戸医療センター看護部
4）国立病院機構大阪医療センター看護部

025-121 三重県の HIV 感染症診療の地域的特徴および課題

前田多見[1,8)]、**松本剛史**[2,3,8)]、**大石晃嗣**[2,3,8)]、**坂部茂俊**[4,8)]、**谷口晴記**[5,8)]、**白木克哉**[6,8)]、**森　尚義**[7,8)]

1）三重大学医学部附属病院　医療福祉支援センター
2）三重大学医学部附属病院　輸血・細胞治療部
3）三重大学医学部附属病院　血液内科
4）伊勢赤十字病院　感染症科
5）三重県立総合医療センター　産婦人科
6）三重県立総合医療センター　消化器内科
7）三重県医療保健部 薬務感染症対策課
8）三重県拠点病院連絡会議

025-122 HIV 感染症患者の睡眠障害：多角的視点からの検討

中川雄真[1)]、**茂呂　寛**[1)]、**村松芳幸**[2)]、**川口　玲**[1)]、**石田順子**[1)]、**野田順子**[1)]、**菊地利明**[3)]

1）新潟大学医歯学総合病院
2）新潟大学医学部保健学科
3）新潟大学医歯学総合研究科

025-123 大阪市における HIV 合併結核患者の DOTS と治療成績に関する検討

浅井千絵、竹川美穂、青木理恵、真木景子、櫻井理恵、浦林純江、金井瑞恵、植田英也、津田侑子、岡田めぐみ、小向　潤、松本健二、吉田英樹
大阪市保健所

025-124 NDB オープンデータを用いた抗 HIV 薬の処方状況の解析

田中博之、石井敏浩
東邦大学薬学部

■日時：12 月 3 日（月）17：30 ～ 18：10
■会場：第 2 会場
（大阪国際会議場 10 階 1001）

026　構造と感染機構 2

座長　佐藤賢文
熊本大学　エイズ学研究センター

三隅将吾
熊本大学大学院生命科学研究部　環境分子保健学分野

026-125 創薬を目指した HIV-1 Gag MA ドメインとカルジオリピンとの結合解析

安楽健作[1)]、**立石　大**[2)]、**古賀涼子**[2)]、**福田亮太**[2)]、**坂本亜里紗**[1)]、**大塚雅巳**[2)]、**藤田美歌子**[3)]

1）熊本保健科学大学保健科学部医学検査学科
2）熊本大学大学院　生命科学研究部　生体機能分子合成学分野
3）熊本大学　薬学部附属創薬研究センター

026-126 Characterization of novel HIV-1 inhibitors targeting Gag-TSG101 interaction

Siarot Lowela[1)]、Chutiwitoonchai Nopporn[1,2)]、**佐藤洋隆**[1,2)]、Chang Hao[1,4)]、**小谷　治**[5)]、**横山　勝**[5)]、**佐藤裕徳**[5)]、**藤野真之**[6)]、**村上　勉**[6)]、**近藤恭光**[7)]、**本田香り**[7)]、**長田裕之**[7)]、**上田一樹**[1)]、**伊藤嘉浩**[1)]、**青野俊裕**[3)]、**児玉栄一**[8)]、**黒田和道**[9)]、**武井正美**[9)]、**間　陽子**[1,2,4)]

1）理化学研究所 開拓研究本部 伊藤ナノ医工学研究室
2）理化学研究所 分子ウイルス学特別研究ユニット
3）東京大学 生物生産工学研究センター
4）東大院 新領域 メディカル情報生命 感染制御分子機能解析分野
5）国立感染症研究所 病原体ゲノム解析研究センター
6）国立感染症研究所 エイズ研究センター
7）理化学研究所 環境資源研究センター
8）東北大学 災害科学国際研究所
9）日本大学 医学部

026-127 二量体化に基づいた新規抗 HIV-1 膜融合阻害薬の創出

村上　努[1)]、**海老原健人**[2)]、**藤野真之**[1)]、**本田柚子奈**[2)]、**小早川拓也**[2)]、**野村　渉**[2)]、**玉村啓和**[2)]

1）国立感染症研究所エイズ研究センター
2）東京医科歯科大生体材料工学研究所

026-128 A proposal of molecular dynamics based structural models of the Pr55Gag precursor of HIV-1

Osamu Kotani[1)]、Masaru Yokoyama[1)]、Akira Ono[2)]、Hironori Sato[1)]

1）Pathogen Genomics Center, National Institute of Infectious Diseases
2）Department of Microbiology and Immunology, University of Michigan Medical School

■日時：12 月 3 日（月） 18：30 ～ 19：30
■会場：第 3 会場
（大阪国際会議場 10 階 1002）

027 MSM

座長　塩野徳史
大阪青山大学　健康科学部　看護学科

井上洋士
国立がん研究センター

027-129 若年 MSM の薬物使用開始と相談行動の考察～ LASH (Love life And Sexual Health) 調査から

生島　嗣[1)]、三輪岳史[1)]、野坂祐子[2)]、山口正純[3)]、大槻知子[1)]、若林チヒロ[4)]、林　神奈[5)]、樽井正義[1)]

1) 特定非営利活動法人ぷれいす東京
2) 大阪大学大学院
3) 武南病院
4) 埼玉県立大学
5) Simon Fraser University

027-130 HIRI-MSM を参考にしたわが国の MSM における HIV 感染リスクの評価 - ゲイ向け GPS アプリ利用者の意識や行動に関する LASH 調査から -

山口正純[1)]、三輪岳史[2)]、大槻知子[2)]、生島　嗣[2)]、樽井正義[2)]

1) 武南病院
2) 特定非営利活動法人　ぷれいす東京

027-131 akta 来場者における来場経験別の来場目的、HIV 検査行動、性行動、陽性者の身近さ

荒木順子[1)]、金子典代[2)]、木南拓也[1)]、藤原孝大[1)]、阿部甚兵[1)]、岩橋恒太[1)]、高久道子[2)]、本間隆之[3)]

1) 特定非営利活動法人 akta
2) 名古屋市立大学看護学部
3) 山梨県立大学看護学部

027-132 コミュニティセンター akta を基点とするアウトリーチ活動の効果評価

木南拓也[1)]、本間隆之[2)]、岩橋恒太[1)]、今村顕史[3)]、

1) 特定非営利活動法人 akta
2) 山梨県立大学看護学部
3) 東京都立駒込病院

027-133 HIV 検査相談会「快速あんしん検査上野駅 2017」の実施

本間隆之[1)]、岩橋恒太[2)]、貞升健志[3)]、長島真美[3)]、生島　嗣[4)]、堅多敦子[5)]、市川誠一[6)]、今村顕史[7)]

1) 山梨県立大学看護学部
2) 特定非営利活動法人 akta
3) 東京都健康安全研究センター
4) 特定非営利活動法人 ぷれいす東京
5) 東京都福祉保健局
6) 人間環境大学看護学部
7) 東京都立駒込病院

027-134 A 型肝炎の流行におけるハイリスク層への効果的な啓発方法の検討

今村顕史[1)]、堅多敦子[2)]、岩橋恒太[3)]、生島　嗣[4)]

1) がん・感染症センター 都立駒込病院感染症科
2) 東京都保福祉保健局
3) 特定非営利活動法人 akta
4) 特定非営利活動法人ぷれいす東京

■日時：12 月 4 日（火）9：00 ～ 9：50
■会場：第 2 会場
（大阪国際会議場 10 階 1001）

028　複製

座長　**武内寛明**
東京医科歯科大学医歯学総合研究科ウイルス制御学

亀岡正典
神戸大学大学院　保健学研究科

028-135 HIV-1 RT-IN 融合蛋白の逆転写酵素活性機能

増田貴夫、黄　渝倫、Wang Paoling、
長谷川温彦、神奈木真理
東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科

028-136 Short transcript を指標とした残存感染細胞の性状解析

石坂　彩[1,2]、古賀道子[2,3]、佐藤秀憲[3]、
菊地　正[2,3]、安達英輔[3]、鯉渕智彦[3]、
四柳　宏[2,3]、清野　宏[1]、立川（川名）　愛[4]、
水谷壮利[1,2]
1）東京大学医科学研究所 国際粘膜ワクチン開発研究センター
2）東京大学医科学研究所 先端医療研究センター 感染症分野
3）東京大学医科学研究所附属病院 感染免疫内科
4）国立感染症研究所 エイズ研究センター

028-137 準完全長プロウイルスによる治療効果の新しい評価

小谷　宙[1,2]、加藤真吾[3]、親泊あいみ[3]、
須藤弘二[3]、丸山理恵[3]、西松直美[1]、
宇野俊介[2]、上蓑義典[2]、藤原　宏[2]、
長谷川直樹[2]
1）慶應義塾大学病院薬剤部
2）慶應義塾大学医学部感染制御センター
3）慶應義塾大学医学部微生物・免疫学教室

028-138 Identification of an intragenic regulatory region within HIV-1 provirus and its transcriptional regulatory mechanism

Iwase Saori[1]、Matsuo Misaki[1]、
Tan Benjy Jek Yang[1]、
Miyazato Paola[1]、Kudo Eriko[1]、
Matsuda Kouki[2]、Islam Saiful[1]、
Maeda Kenji[2]、Okada Seiji[1]、
Satou Yorifumi[1]
1）Center for AIDS Research, Kumamoto University
2）National Center for Global Health and Medicine Research Institute

028-139 HIV-1 Psi 領域の機能構造に関する解析

櫻木淳一、櫻木小百合、塩田達雄
大阪大学微生物病研究所ウイルス感染制御分野

■日時：12 月 4 日（火）9：00 ～ 9：50
■会場：第 3 会場
（大阪国際会議場 10 階 1002）

029　副作用

座長　渡邊　大
独立行政法人　国立病院機構　大阪医療センター
臨床研究センター　エイズ先端医療研究部

増田純一
国立国際医療研究センター病院　薬剤部

029-140 ドルテグラビルを含んだ抗 HIV 療法への変更が骨密度・骨代謝マーカーに与える影響について

吉野友祐、三須恵太、北沢貴利、太田康男
帝京大学医学部内科学講座感染症

029-141 当センターにおける Dolutegravir の精神神経系の有害事象の後方視的検討

青木孝弘、上村　悠、柳川泰昭、水島大輔、木内　英、渡辺恒二、田沼順子、塚田訓久、照屋勝治、潟永博之、菊池　嘉、岡　慎一
国立国際医療研究センター

029-142 当院における TAF 変更例の腎機能、血中脂質への影響について

松井綾香 [1)]、野村直幸 [1)]、村上由佳 [1)]、藤原千尋 [1)]、飯塚暁子 [1)]、木梨貴博 [1)]、門田悦子 [1)]、齊藤誠司 [1)]、坂田達朗 [1)]、和田秀穂 [1)]
1）独立行政法人国立病院機構　福山医療センター　エイズ治療センター
2）川崎医科大学病院　血液内科

029-143 テノホビルジソプロキシルフマル酸塩からテノホビルアラフェナミドへの変更による尿中 L 型脂肪酸結合蛋白の変化

日笠真一 [1)]、島袋翔多 [1)]、秀田恭子 [1)]、日笠　聡 [2)]、澤田暁宏 [2)]、徳川多津子 [2)]、田中邦佳 [1)]、柳井美奈 [1)]、木村　健 [1)]
1）兵庫医科大学病院　薬剤部
2）兵庫医科大学病院　血液内科

029-144 TDF より TAF 変更例における血中クレアチニン及び eGFR 値の変化

藤井輝久 [1)]、山崎尚也 [2)]、井上暢子 [2)]、柿本聖樹 [3)]、齋藤誠司 [4)]、石井聡一郎 [5)]、藤田啓子 [5)]、畝井浩子 [5)]
1）広島大学病院輸血部・エイズ医療対策室
2）広島大学病院輸血部
3）広島大学病院総合診療科
4）国立病院機構福山医療センター
5）広島大学病院薬剤部

■日時：12 月 4 日（火）9：00 ～ 9：50
■会場：第 4 会場
（大阪国際会議場 10 階 1008）

030　陽性者支援 1

座長　**山口正純**
武南病院

青木理恵子
特定非営利活動法人　CHARM

030-145 HIV 陽性者での Treatment as Prevention（TasP）の認知状況と性生活・メンタルヘルスとの関連

井上洋士[1,2]、**戸ヶ里泰典**[1]、**塩野徳史**[3]、**細川陸也**[4]、**米倉佑貴**[5]、**大島　岳**[6]、**片倉直子**[7]、**若林チヒロ**[8]、**山内麻江**[9]、**阿部桜子**[10]、**河合　薫**[11]、**梅沢寛子**[1]、**渡邊淳子**[12]、**大木幸子**[13]、**高久陽介**[14]

1）放送大学
2）国立がん研究センター
3）大阪青山大学
4）名古屋市立大学
5）聖路加国際大学
6）一橋大学大学院
7）神戸市看護大学
8）埼玉県立大学
9）了徳寺大学
10）TIS（株）
11）（株）MH レボリューション
12）福岡大学病院
13）杏林大学
14）NPO 法人日本 HIV 陽性者ネットワーク・ジャンププラス

030-146 HIV 陽性者における依存性薬物使用の変化とストレス関連成長・ストレス対処力との関連―3 年間の縦断データ分析より―

戸ヶ里泰典[1]、**井上洋士**[1,2]、**高久陽介**[3]、**米倉佑貴**[4]、**大島　岳**[5]、**阿部桜子**[6]、**塩野徳史**[7]、**細川陸也**[8]、**山内麻江**[9]、**片倉直子**[10]、**河合　薫**[11]、**若林チヒロ**[12]、**大木幸子**[13]

1）放送大学
2）（株）アクセライト
3）NPO 法人日本HIV陽性者ネットワーク・ジャンププラス
4）聖路加国際大学
5）一橋大学大学院
6）TIS（株）
7）大阪青山大学
8）名古屋市立大学
9）了徳寺大学
10）神戸市看護大学
11）（株）MH レボリューション
12）埼玉県立大学
13）杏林大学

030-147 差別偏見を感じている HIV 陽性者当事者の対処戦略に関する自由記載のテキストマイニング分析

大島　岳[1]、**井上洋士**[2,3]、**戸ヶ里泰典**[2]、**高久陽介**[4]、**米倉佑貴**[5]、**阿部桜子**[6]、**塩野徳史**[7]、**細川陸也**[8]、**山内麻江**[9]、**片倉直子**[10]、**河合　薫**[11]、**若林チヒロ**[12]、**大木幸子**[13]、**渡邊淳子**[14]、**梅沢寛子**[14]、**板垣貴志**[15]

1）一橋大学大学院社会学研究科博士後期課程
2）放送大学
3）国立がん研究センター
4）NPO 法人日本HIV陽性者ネットワーク・ジャンププラス
5）聖路加国際大学
6）TIS（株）
7）大阪青山大学
8）名古屋市立大学
9）了徳寺大学
10）神戸市看護大学
11）（株）MH レボリューション
12）埼玉県立大学
13）杏林大学
14）福岡大学病院
15）（株）アクセライト

030-148 HIV 陽性者のための「就職支援セミナー」から見えてくること

佐藤郁夫、加藤力也、生島　嗣、大槻知子、牧原信也、池上千壽子
特定非営利活動法人ぷれいす東京

030-149 薬物使用経験のある HIV 陽性者における亜硝酸エステル使用が服薬アドヒアランスに与える影響

嶋根卓也[1]、**今村顕史**[2]、**池田和子**[3]、**山本政弘**[4]、**辻麻理子**[4]、**長与由紀子**[4]、**松本俊彦**[1]

1）国立精神・神経医療研究センター薬物依存研究部
2）がん・感染症センター都立駒込病院
3）国立国際医療研究センターエイズ治療・研究開発センター
4）九州医療センター AIDS/HIV 総合治療センター

■日時：12 月 4 日（火）9：00 ～ 9：50
■会場：第 7 会場
（大阪国際会議場 12 階 特別会議場）

031　医療体制 2

座長　**山本政弘**
国立病院機構　九州医療センター
AIDS/HIV 総合診療センター

伊藤俊広
独立行政法人国立病院機構仙台医療センター　感染症内科

031-150 エイズ診療の拠点病院の診療機能評価と課題の検討

横幕能行[1)]、**今橋真弓**[1)]、**伊藤俊広**[2)]、**山本政弘**[3)]、**岡　慎一**[4)]、**豊嶋崇徳**[5)]、**茂呂　寛**[6)]、**渡邉珠代**[7)]、**渡邊　大**[8)]、**藤井輝久**[9)]

1）名古屋医療センター
2）仙台医療センター
3）九州医療センター
4）国立国際医療研究センター　エイズ治療・研究開発センター
5）北海道大学病院　血液内科
6）新潟大学医歯学総合病院
7）石川県立中央病院　免疫感染症科
8）大阪医療センター
9）広島大学病院　輸血部

031-151 名古屋医療センターにおける 2009 ～ 2016 年未治療初診患者の後方視的生存率検討

今橋真弓[1,2)]、**金子典代**[3)]、**椎野禎一郎**[4)]、**松田昌和**[1)]、**蜂谷敦子**[1)]、**岩谷靖雅**[1)]、**横幕能行**[1,2)]、**羽柴知恵子**[5)]

1）名古屋医療センター　臨床研究センター　感染・免疫研究部
2）名古屋医療センター　感染症内科
3）名古屋市立大学看護学部　国際保健看護学
4）国立感染症研究所　感染症疫学センター
5）名古屋医療センター　看護部

031-152 北陸ブロックにおける HIV 診療と治療の状況

渡邉珠代[1)]、**辻　典子**[2)]、**朝倉英策**[3)]、**森永浩次**[4)]、**吉尾伸之**[5)]、**井上仁**[6)]、**今村　信**[7)]、**市橋　匠**[8)]、**漆原涼太**[9)]、**河合暦美**[10)]、**彼谷裕康**[11)]、**岩崎博道**[12)]

1）石川県立中央病院免疫感染症科
2）石川県立中央病院 HIV 事務室
3）金沢大学附属病院
4）福井県立病院
5）国立病院機構金沢医療センター
6）国立病院機構敦賀医療センター
7）福井赤十字病院
8）市立敦賀病院
9）黒部市民病院
10）富山大学附属病院
11）富山県立中央病院
12）福井大学医学部附属病院

031-153 診療所における HIV 感染症診療の試みー第 11 報

根岸昌功[1)]、**河村祐貴子**[1)]、**里　英子**[2)]、**河野小夜子**[1)]、**西岡春菜**[1)]

1）ねぎし内科診療所
2）東京家政大学

031-154 当院の約 30 年間にわたる HIV 感染者の診療転帰と死亡率の時代変遷に関する検討

津田春香[1,2)]、**古賀道子**[2,3)]、**千光寺智恵**[2)]、**久保田めぐみ**[2)]、**菊地　正**[2,3)]、**佐藤秀憲**[3)]、**安達英輔**[3)]、**堤　武也**[2)]、**鯉渕智彦**[3)]、**四柳　宏**[1,2,3)]

1）東京大学医学系研究科内科学専攻
2）東京大学医科学研究所先端医療研究センター感染症分野
3）東京大学医科学研究所附属病院感染症内科

■日時：12 月 4 日（火）10：00 ～ 10：50
■会場：第 2 会場
（大阪国際会議場 10 階 1001）

032　宿主因子

座長　齊藤　暁
大阪大学微生物病研究所 感染症国際研究センター

宮川　敬
横浜市立大学　大学院医学研究科　微生物学

032-155 Identification of a host factor supporting HIV-1 entry

Yoshida Takeshi、Kawamura Saki、Yamaguchi Haruka、Takeuchi Hiroaki、Yamaoka Shoji

Department of Molecular Virology, Tokyo Medical and Dental University (TMDU)

032-156 gamma-interferon による HIV-1 感染抑制に関与する新規宿主防御因子の同定

久保嘉直[1)]、泉田真生[2)]、梅村ゆりあ[2)]、林日出喜[1)]、松山俊文[1)]

1）長崎大学大学院医歯薬学総合研究科
2）長崎大学熱帯医学研究所

032-157 抗 HIV 因子 APOBEC3H タンパク質の構造解析

松岡達矢[1,2)]、永江峰幸[3)]、大出裕高[1)]、濱野章子[1)]、松岡和弘[1)]、蜂谷敦子[1)]、今橋真弓[1)]、横幕能行[1)]、渡邉信久[2,3)]、岩谷靖雅[1,4)]

1）名古屋医療センター　臨床研究センター　感染・免疫研究部
2）名古屋大学大学院工学研究科
3）名古屋大学　シンクロトロン光研究センター
4）名古屋大学大学院医学研究科

032-158 HIV-1 及びその祖先ウイルスの Vif と抗ウイルスタンパク質 APOBEC3 の相互性解析

中野雄介[1)]、山本啓輔[1)]、Soper Andrew[1)]、佐藤　佳[1,2,3)]、小柳義夫[1)]

1）京都大学ウイルス・再生医科学研究所システムウイルス学分野
2）東京大学医科学研究所システムウイルス学分野
3）CREST

032-159 HIV-1 感染における HIV-1 Vif PPLP モチーフ領域の役割

松岡和弘[1)]、濱野章子[1)]、大出裕高[1)]、松岡達矢[1,2)]、助川明香[1)]、蜂谷敦子[1)]、今橋真弓[1)]、横幕能行[1)]、岩谷靖雅[1,3)]

1）（独）国立病院機構　名古屋医療センター　臨床研究センター　感染・免疫研究部
2）名古屋大学大学院工学研究科
3）名古屋大学大学院医学系研究科

■日時：12 月 4 日（火）10：00 ～ 10：50
■会場：第 3 会場
（大阪国際会議場 10 階 1002）

033　生活習慣病 2（DM・ポリファーマシー）

座長　**吉野宗宏**
独立行政法人　国立病院機構　宇多野病院　薬剤部

治田匡平
奈良県立医科大学附属病院　薬剤部

033-160 抗 HIV 薬と糖尿病治療薬の併用に関する調査

押賀充則[1)]、**増田純一**[1)]、**霧生彩子**[1)]、
長島浩二[1)]、**早川史織**[1)]、**田沼順子**[2)]、
照屋勝治[2)]、**潟永博之**[2)]、**塚田訓久**[2)]、
寺門浩之[1)]、**菊池　嘉**[2)]、**岡　慎一**[2)]

1）国立国際医療研究センター病院薬剤部
2）国立国際医療研究センターエイズ治療・研究開発センター

033-161 当院通院中の糖尿病を合併する HIV 陽性者の特徴について

松浦基夫[1)]、**西田幸司**[2)]、**草間加与**[2)]

1）堺市立総合医療センター腎代謝免疫内科
2）堺市立総合医療センター呼吸器内科

033-162 抗 HIV 療法初回導入患者におけるインテグラーゼ阻害剤服用後の体重増加とその要因に関する調査

熊木絵美[1)]、**増田純一**[1)]、**内坪敬太**[1)]、
小林瑞季[1)]、**霧生彩子**[1)]、**長島浩二**[1)]、
押賀充則[1)]、**早川史織**[1)]、**田沼順子**[2)]、
照屋勝治[2)]、**潟永博之**[2)]、**塚田訓久**[2)]、
寺門浩之[1)]、**菊池　嘉**[2)]、**岡　慎一**[2)]

1）国立国際医療研究センター病院薬剤部
2）国立国際医療研究センターエイズ治療・研究開発センター

033-163 当院における抗 HIV 療法施行患者のポリファーマシーに関する検討

中内崇夫[1)]、**矢倉裕輝**[1)]、**冨島公介**[1)]、
上平朝子[2)]、**白阪琢磨**[2)]

1）国立病院機構　大阪医療センター　薬剤部
2）国立病院機構　大阪医療センター　感染症内科

033-164 当院における HIV-1 感染高齢患者におけるポリファーマシーの処方適正化の検討

櫛田宏幸、**竹松茂雄**、**田路章博**、**宮地修平**、**砂金秀美**

姫路医療センター

■日時：12 月 4 日（火） 10：00 ～ 10：50
■会場：第 4 会場
（大阪国際会議場 10 階 1008）

034　陽性者支援 2

座長　白野倫徳
大阪市立総合医療センター　感染症内科

富田健一
北海道大学病院　HIV 診療支援センター

034-165 HIV 感染者の在宅療養支援の現状と課題－ A 県の訪問看護ステーション管理者の調査より－

毛内寛子[1)]、河原畑直美[2)]
1）長野赤十字病院
2）新潟県立看護大学

034-166 大阪市における介護事業者との連携に向けた実態調査

真木景子、櫻井理恵、岡田めぐみ、浦林純江、松本健二、小向　潤、片山佳子、山脇慎介、久保徹朗、浅井千絵、津田侑子、金井瑞恵、吉田英樹
大阪市保健所

034-167 急激な臨床経過をたどった終末期 AIDS 患者の意思決定支援と在宅療養調整

辻森あゆみ[1)]、藤友結実子[2,7)]、小阪直史[3)]
土井恵介[3)]、塚本　拓[4)]、杉谷未央[5)]、
中村順子[6)]、黒田純也[4)]、藤田直久[2)]
1）京都府立医科大学附属病院医療サービス課
2）京都府立医科大学附属病院感染症科
3）京都府立医科大学附属病院薬剤部
4）京都府立医科大学附属病院血液内科
5）松下記念病院血液内科
6）京都府立医科大学附属病院地域医療連携室
7）国立国際医療研究センター病院 AMR 臨床リファレンスセンター

034-168 HIV 陽性者の子どもを持つことの現状

細川陸也[1)]、井上洋士[2,3)]、戸ヶ里泰典[2)]、
高久陽介[4)]、若林チヒロ[5)]、阿部桜子[6)]、
塩野徳史[7)]、米倉佑貴[8)]、片倉直子[9)]、
山内麻江[10)]、大島　岳[11)]、大木幸子[12)]
1）名古屋市立大学看護学部
2）放送大学
3）（株）アクセライト
4）NPO 法人日本HIV陽性者ネットワーク・ジャンププラス
5）埼玉県立大学
6）TIS（株）
7）大阪青山大学
8）聖路加国際大学
9）神戸市看護大学
10）了徳寺大学
11）一橋大学大学院
12）杏林大学

034-169 女性 HIV 陽性者交流会を通したエンパワメント

青木理恵子[1)]、織田幸子[1)]、白野倫徳[1,2)]、
松浦基夫[1,5)]、外川正生[2)]、谷口春記[3)]、
来住知美[4)]、宇高　歩[5)]、今井由三代[6)]、
林　滋[7)]
1）特定非営利活動法人チャーム
2）地方独立行政法人大阪市民病院機構大阪市立総合医療センター
3）地方独立行政法人三重県立総合医療センター
4）国立病院機構大阪医療センター
5）地方独立行政法人堺市立病院機構堺市立総合医療センター
6）北陸 HIV 情報センター
7）エイズ文化フォーラム in 京都

■日時：12 月 4 日（火）11：00 ～ 12：00
■会場：第 4 会場
（大阪国際会議場 10 階 1008）

035　薬剤耐性・PEP/PrEP

座長　**菊地　正**
国立感染症研究所　エイズ研究センター

鯉渕智彦
東京大学医科学研究所附属病院　感染免疫内科

035-170 国内新規 HIV/AIDS 診断症例における薬剤耐性HIV - 1の動向

岡﨑玲子[1)]、蜂谷敦子[1)]、佐藤かおり[2)]、豊嶋崇徳[2)]、佐々木悟[3)]、伊藤俊広[3)]、林田庸総[4)]、岡　慎一[4)]、潟永博之[4)]、古賀道子[5)]、長島真美[6)]、貞升健志[6)]、近藤真規子[7)]、椎野禎一郎[8)]、須藤弘二[9)]、加藤真吾[9)]、谷口俊文[10)]、猪狩英俊[10)]、寒川　整[11)]、加藤英明[11)]、石ヶ坪良明[11)]、中島秀明[11)]、吉野友祐[12)]、太田康男[12)]、茂呂　寛[13)]、渡邉珠代[14)]、松田昌和[1)]、重見　麗[1)]、岩谷靖雅[1)]、横幕能行[1)]、渡邉　大[15)]、小島洋子[16)]、森　治代[16)]、藤井輝久[17)]、高田清式[18)]、南　留美[19)]、山本政弘[19)]、松下修三[20)]、健山正男[21)]、藤田次郎[21)]、杉浦　亙[1)]、吉村和久[8)]、菊地　正[8)]

1）（独）名古屋医療センター
2）北海道大学
3）（独）仙台医療センター
4）国立国際医療研究センター
5）東京大学医科学研究所
6）東京都健康安全研究センター
7）神奈川県衛生研究所
8）国立感染症研究所
9）慶應義塾大学
10）千葉大学
11）横浜市立大学
12）帝京大
13）新潟大学
14）石川県立中央病院
15）（独）大阪医療センター
16）大阪健康安全基盤研究所
17）広島大学
18）愛媛大学
19）（独）九州医療センター
20）熊本大学
21）琉球大学

035-171 Accumulated HIV-1 Drug Resistance Restrict Therapeutic Options in Tanzania

Barabona Godfrey[1)]、Mahiti Macdonald[2,3)]、Matsuda Masakazu[4)]、Hachiya Atsuko[4)]、Lyamuya Eligius[3)]、Ueno Takamasa[1,2)]

1）Center for AIDS Research, Kumamoto Univ.
2）IRCMS, Kumamoto Univ.
3）Muhimbili University, Tanzania
4）Clinical Research Center, Nagoya Medical Center

035-172 TDF/FTC に耐性化 HBV の出現が疑われた HIV/HBV 共感染者の一例

田中征雄[1)]、吉澤　要[1)]

1）国立病院機構信州上田医療センター　内科・総合診療科
2）国立病院機構信州上田医療センター　肝臓内科

035-173 ART 中断歴のある HIV と HCV の重複感染患者において ART 再開中に肝障害を生じた症例

塩田有史[1,2)]、小泉祐介[1,3)]、浅井信博[1,3)]、渡邊弘樹[1,3)]、山岸由佳[1,3)]、三鴨廣繁[1,3)]

1）愛知医科大学病院　感染制御部
2）愛知医科大学病院　薬剤部
3）愛知医科大学病院　感染症科

035-174 SH 外来通院者における PrEP 研究への参加希望状況

高野　操[1)]、水島大輔[2)]、田中和子[2)]、青木孝弘[2)]、柳川泰昭[2)]、上村　悠[2)]、渡辺恒二[2)]、小形幹子[2)]、菊池　嘉[2)]、岡　慎一[2)]

1）国立研究開発法人　国立国際医療研究センター
2）国立研究開発法人　国立国際医療研究センター　エイズ治療・研究開発センター

035-175 当センターにおける非職業曝露後予防内服（nPEP）の施行状況（続報）

塚田訓久、田沼順子、上村　悠、柳川泰昭、水島大輔、青木孝弘、木内　英、渡辺恒二、矢崎博久、照屋勝治、潟永博之、菊池　嘉、岡　慎一

国立国際医療研究センター　エイズ治療・研究開発センター

一般演題プログラム
（ポスター・アンコールポスター）

※本号（（　）内）のページ数を掲載しております。

ポスター

ポスター貼付・自由閲覧：12月2日（日）　9：00～18：00　※貼付：12月2日（日）中
12月3日（月）10：00～14：40 ／ 16：20～18：00
12月4日（火）　9：00～14：30

発表：12月3日（月）
奇数番号　14：40～15：25
偶数番号　15：35～16：20

ポスター撤去：12月4日（火）14：30～15：00

				プログラム	抄録
	臨床	肝炎	P-001～P-005	P.91	P.318
		STD	P-006～P-010	P.91	P.320
		抗 HIV 療法	P-011～P-023	P.92	P.323
		ART 症例	P-024～P-028	P.93	P.329
		HAND	P-029～P-030	P.94	P.332
		アド・臨床薬理	P-031～P-039	P.94	P.333
		症例報告	P-040～P-051	P.95	P.337
		臨床検査	P-052～P-053	P.96	P.343
		母子感染	P-054～P-060	P.96	P.344
		看護	P-061～P-066	P.97	P.348
		歯科	P-067～P-070	P.97	P.351
		医療体制	P-071～P-075	P.98	P.353
	基礎	基礎 1	P-076～P-081	P.98	P.355
		基礎 2	P-082～P-086	P.99	P.358
	社会	MSM	P-087～P-088	P.100	P.361
		カウンセリング	P-089～P-092	P.100	P.362
		教育・行動科学・意識調査	P-093～P-097	P.100	P.364
		検査	P-098～P-105	P.101	P.366
		在宅療養支援	P-106～P-107	P.102	P.370
		薬害・人権	P-108～P-109	P.102	P.371
		陽性者支援	P-110～P-116	P.102	P.372
	アンコールポスター		EP-01～EP-14	P.104	P.376

一般演題（ポスター）

■会場：大阪国際会議場 10 階 ポスター会場

■ポスター貼付・自由閲覧

12 月 2 日（日）　9：00 ～ 18：00
12 月 3 日（月）　10：00 ～ 14：40
16：20 ～ 18：00
12 月 4 日（火）　9：00 ～ 14：30
※ 12 月 2 日（日）中に貼付願います。

■発表：12 月 3 日（月）

奇数番号　14：40 ～ 15：25
偶数番号　15：35 ～ 16：20

■ポスター撤去

12 月 4 日（火）　14：30 ～ 15：00

臨床　肝炎

P-001　HIV 感染者における A 型肝炎の臨床的特徴―2 シーズンの比較―

林　阿英[1)]、古賀道子[1,2)]、菊地　正[1,2)]、佐藤秀憲[1)]、安達英輔[1)]、堤　武也[1,2)]、鯉渕智彦[1)]、四柳　宏[1,2)]

1）東京大学医科学研究所附属病院感染免疫内科
2）東京大学医科学研究所先端医療研究センター感染症分野

P-002　当院通院中の HIV 感染患者に合併した急性 A 型肝炎の検討

高濱宗一郎[1)]、山下尚毅[2)]、山岡大将[2)]、南　留美[1)]、犬丸真司[3)]、長與由紀子[3)]、城崎真弓[3)]、山本政弘[1)]

1）国立病院機構　九州医療センター　免疫感染症科
2）消化器内科
3）看護部

P-003　東南アジアから帰国後にデング熱が疑われ受診した急性肝炎症例

八板謙一郎[1)]、高濱宗一郎[2)]

1）千鳥橋病院感染症科
2）九州医療センター免疫感染症内科

P-004　同時期に感染したと思われる急性 HIV-HBV 感染症の 1 例

小林　一[1)]、関根隆博[1)]、米田和樹[1)]、若狭健太郎[1)]、脇田雅大[2)]、白戸貴久[3)]、新　智文[4)]

1）帯広厚生病院血液内科
2）帯広厚生病院神経内科
3）帯広厚生病院皮膚科
4）帯広厚生病院健診センター

P-005　当院における HIV/HCV 重複感染者の C 型肝炎の DAA 治療成績

上村　悠[1)]、塚田訓久[1)]、土屋亮人[1)]、柳川泰昭[1)]、水島大輔[1)]、青木孝弘[1)]、渡辺恒二[1)]、田沼順子[1)]、照屋勝治[1)]、潟永博之[1,2)]、菊池　嘉[1)]、岡　慎一[1,2)]

1）国立国際医療研究センター
2）熊本大学エイズ学研究センター

臨床　STD

P-006　赤痢アメーバ感染症に対する病原体診断法の感度に関する検討

柳川泰昭[1)]、渡辺恒二[1)]、永田尚義[2)]、上村　悠[1)]、水島大輔[1)]、青木孝弘[1)]、木内　英[1)]、田沼順子[1)]、塚田訓久[1)]、照屋勝治[1)]、菊池　嘉[1)]、潟永博之[1)]、岡　慎一[1)]

1）国立国際医療研究センター病院エイズ治療研究開発センター
2）国立国際医療研究センター病院消化器内科

P-007　東京都内の自発的性感染症検査施設受検者におけるアメーバ赤痢血清抗体陽性率の検討

渡辺恒二[1)]、柳川泰昭[1)]、長島真美[2)]、潟永博之[1)]、菊池　嘉[1)]、岡　慎一[1)]、横山敬子[2)]、新開敬行[2)]、貞升健志[2)]

1）国立国際医療研究センター　エイズ治療研究開発センター
2）東京都健康安全研究センター　微生物部

P-008　細菌性赤痢と A 型肝炎を合併した MSM の 2 例

彼谷裕康

富山県立中央病院　内科

P-009　梅毒初感染時にネフローゼ症候群を発症した HIV 感染症の 1 例

田崎晃一郎[1)]、近澤悠志[2)]、四本美保子[2)]、上久保淑子[2)]、宮下竜伊[2)]、城川泰司郎[3)]、一木昭人[2)]、備後真登[2)]、関谷綾子[2)]、村松　崇[2)]、横田和久[2)]、萩原　剛[2)]、天野景裕[2,4)]、福武勝幸[2,4)]

1）東京医科大学病院　卒後臨床研修センター
2）東京医科大学　臨床検査医学分野
3）千葉大学病院　総合診療科
4）東京医科大学　血液凝固異常症遺伝子研究寄附講座

P-010 梅毒によると思われる急性肝障害とネフローゼ症候群の合併を認めた HIV 感染症の 1 例

徳川多津子、澤田暁宏、日笠　聡、藤盛好啓
兵庫医科大学　血液内科

臨床　抗 HIV 療法

P-011 TDF から TAF に変更後の腎機能検査値の推移に対する併用キードラッグの影響に関する検討

渡邊　大[1,2,3]、上平朝子[2]、矢倉裕輝[4]、
冨島公介[4]、中内崇夫[4]、北島平太[2]、
寺前晃介[2]、来住知美[2]、廣田和之[2]、
伊熊素子[2]、上地隆史[2]、西田恭治[2]、
白阪琢磨[1,2,3]

1）国立病院機構大阪医療センター臨床研究センターエイズ先端医療研究部
2）国立病院機構大阪医療センター感染症内科
3）大阪大学大学院医学系研究科エイズ先端医療学
4）国立病院機構大阪医療センター薬剤部

P-012 テノホビルジソプロキシルフマル酸塩からテノホビルアラフェナミドフマル酸塩への変更

島袋翔多[1]、日笠真一[1]、秀田恭子[1]、
日笠　聡[2]、澤田暁宏[2]、徳川多津子[2]、
田中邦佳[1]、柳井美奈[1]、木村　健[1]

1）兵庫医科大学病院 薬剤部
2）兵庫医大学 血液内科

P-013 当院におけるゲンボイヤ[R] 配合錠へ切り替え例の治療経過

安田明子[1]、渡邉珠代[2]、成田綾香[1]、
田中智裕[1]

1）石川県立中央病院　薬剤部
2）石川県立中央病院　免疫感染症科

P-014 当院でのスタリビルド配合錠からゲンボイヤ配合錠変更患者における腎機能、脂質代謝への影響

村田龍宣[1]、森田眞由[1]、大橋正和[1]、
本多あずさ[1]、篠原　浩[2]、栃谷健太郎[2]、
清水恒広[2]、村岡淳二[1]

1）京都市立病院　薬剤科
2）京都市立病院　感染症科

P-015 当院におけるドルテグラビルの安全性と有効性の検討

稲村由香[1]、鈴木克典[2]、田中美佐子[3]、
野田雅美[4]、曽我真千恵[5]、齋藤和義[6]、
田中良哉[5]

1）産業医科大学病院薬剤部
2）同 感染制御部
3）同 看護部
4）同 事務部 患者サービス室
5）同 第一内科学
6）戸畑総合病院

P-016 DTG/ABC/3TC のシングルタブレットレジメンへ変更後の治療経過についての検討

斉藤千鶴[1]、小谷岳春[1]、渡邉珠代[2]

1）石川県立中央病院血液内科
2）石川県立中央病院免疫感染症科

P-017 Efavirenz から Dolutegravir への変更による肝機能・腎機能検査値への影響

石橋幹雄、内藤哲哉、酒井義朗、三輪涼子
久留米大学病院薬剤部

P-018 ダルナビル・コビシスタット配合錠のナイーブ症例に対する使用経験

大久保萌香[1]、市田裕之[1]、白野倫徳[2]、
小西啓司[2]、麻岡大裕[2]、笠松　悠[2]、
後藤哲志[2]

1）大阪市立総合医療センター薬剤部
2）大阪市立総合医療センター感染症内科

P-019 当院の 2 剤レジメンの現状

上平朝子[1,2]、渡邉　大[1,2]、矢倉裕輝[3]、
冨島公介[3]、中内崇夫[3]、北島平太[1]、
寺前晃介[1]、来住知美[1]、廣田和之[1]、
伊熊素子[1]、上地隆史[1]、西田恭治[1,2]、
白阪琢磨[1,2]

1）国立病院機構大阪医療センター感染症内科
2）HIV/AIDS 先端医療開発センター
3）国立病院機構大阪医療センター薬剤部

P-020 ラルテグラビル / エトラビリン / ダルナビル / リトナビルレジメンの長期投与症例についての検討

冨島公介[1)]、中内崇夫[1)]、矢倉裕輝[1)]、
北島平太[2)]、寺前晃介[2)]、来住知美[2)]、
廣田和之[2)]、伊熊素子[2)]、上地隆史[2)]、
渡邊　大[2)]、西田恭治[2)]、上平朝子[2)]、
白阪琢磨[2)]

1）国立病院機構大阪医療センター薬剤部
2）国立病院機構大阪医療センター感染症内科

P-021 NRTI sparing regimen で加療された女性 HIV 陽性者の 3 症例

近藤　旭[1)]、神尾咲留未[1)]、阿部憲介[1)]、
後藤達也[1)]、須藤美絵子[2)]、佐々木晃子[2)]、
伊藤ひとみ[2)]、伊藤俊広[2)]

1）国立病院機構仙台医療センター薬剤部
2）国立病院機構仙台医療センター感染症内科

P-022 血液製剤による HIV 感染者の調査成績 第 1 報　健康状態と生活状況の概要

白阪琢磨[1)]、橋本修二[2)]、川戸美由紀[2)]、
大金美和[3)]、岡本　学[1)]、潟永博之[3)]、
日笠　聡[4)]、福武勝幸[5)]、八橋　弘[6)]、
岡　慎一[3)]

1）国立病院機構大阪医療センター
2）藤田保健衛生大学
3）国立国際医療研究センター
4）兵庫医科大学
5）東京医科大学
6）国立病院機構長崎医療センター

P-023 東海ブロックで流行する HIV-1 のインテグラーゼ阻害剤に対する影響とアミノ酸変異の経年的検討

重見　麗[1)]、岡崎玲子[1)]、大出裕高[1)]、
松田昌和[1)]、鶴見　寿[2)]、矢野邦夫[3)]、
奥村暢将[4)]、谷口晴記[5)]、池谷　健[6)]、
伊藤公人[7)]、松下　正[8)]、中畑征史[1)]、
小暮あゆみ[1)]、今村淳治[1)]、今橋真弓[1)]、
岩谷靖雅[1)]、杉浦　亙[1)]、吉村和久[9)]、
蜂谷敦子[1)]、横幕能行[1)]

1）(独) 名古屋医療センター
2）岐阜大学医学部附属病院
3）浜松医療センター
4）安城更生病院
5）三重県立総合医療センター
6）藤枝市立総合病院
7）大同病院
8）名古屋大学医学部附属病院
9）国立感染症研究所

臨床　ART 症例

P-024 ラルテグラビルまたはドルテグラビルを含む ART に対し中枢神経系症状を呈した 1 症例

國本雄介[1)]、又村了輔[1)]、北川　学[1)]、
木明智子[1)]、中田浩雅[1)]、池田　博[2)]、
宮本　篤[1)]

1）札幌医科大学附属病院薬剤部
2）札幌医科大学医学部血液内科

P-025 Boost PI レジメンから non-Boost INSTI レジメン変更に失敗し、Boost INSTI レジメンに変更が成功した 2 症例

島田淳史、永山千明、井上　登
スエヤス調剤薬局文京店

P-026 DTG+TAF/FTC による ART 開始後色素沈着を呈した一例

小川吉彦[1)]、酒井勇紀[1)]、山口尚希[1)]、
吉原真吾[1)]、平位暢康[1)]、西村知子[1)]、
大森慶太郎[1)]、小川　拓[1)]、笠原　敬[1)]、
古西　満[1,2)]、三笠桂一[1)]

1）奈良県立医科大学感染症センター
2）奈良県立医科大学健康管理センター

P-027 TVD/DTG から DVT-HT/DTG へ変更後 S-Cr が上昇した 2 症例の検討

宮本愛梨沙[1)]、松浦基夫[3)]、西田幸司[2)]、
石坂敏彦[1)]、安井友佳子[1)]、宇高　歩[1)]、
那波みゆき[1)]

1）堺市立総合医療センター薬剤科
2）同　呼吸器内科
3）同　腎代謝免疫内科

P-028 腸瘻からの cART 投与において血中濃度測定を行い用量調節した一例

上原　仁[1)]、諸見牧子[1)]、与那覇房子[1)]、
外間惟夫[1)]、前田サオリ[2)]、宮城京子[2)]、
石郷岡美穂[3)]、大城市子[4)]、辺土名優美子[5)]、
上　薫[6)]、仲村秀太[6)]、中村克徳[1)]、
健山正男[6)]、藤田次郎[6)]

1）琉球大学医学部附属病院　薬剤部
2）琉球大学医学部附属病院　看護部
3）琉球大学医学部附属病院医療福祉支援センター
4）琉球大学大学院　精神病態医学講座
5）沖縄県 HIV 派遣カウンセラー
6）琉球大学大学院　感染症・呼吸器・消化器内科学講座

臨床　HAND

P-029　CMV 脳炎にて AIDS 発症した HIV 感染者に神経心理検査を行った一例

霧生瑶子[1)]、木村聡太[1,2)]、小松賢亮[1)]、
木下真里[1)]、田沼順子[1)]、照屋勝治[1)]、
塚田訓久[1)]、潟永博之[1)]、菊池　嘉[1)]、
岡　慎一[1)]

1）国立国際医療研究センター病院エイズ治療・研究開発センター
2）公益財団法人エイズ予防財団

P-030　HIV 関連神経認知障害（HAND）における髄液中のネオプテリン量および HIV-RNA 量と ART 後の変化

高田清式[1)]、末盛浩一郎[2)]、山之内純[2)]、
西川典子[3)]、辻井智明[3)]、井門敬子[4)]、
木村博史[4)]、乗松真大[4)]、武田玲子[5)]、
若松　綾[6)]、小野恵子[6)]、中尾　綾[2)]

1）愛媛大学医学部附属病院　総合臨床研修センター
2）愛媛大学医学部附属病院　第一内科
3）愛媛大学医学部附属病院　薬物療法・神経内科
4）愛媛大学医学部附属病院　薬剤部
5）愛媛大学医学部附属病院　看護部
6）愛媛大学医学部附属病院　総合医療サポートセンター

臨床　アド・臨床薬理

P-031　経口抗 HIV 薬で治療中の HIV 感染症患者に対し、ICT を利用した服薬支援システムによる支援を 6 カ月間実施した場合の有用性について

山中　晃[1)]、酒井克範[2)]

1）新宿東口クリニック
2）株式会社日本エンブレース

P-032　TVD から TAF ／ FTC 切り換え後に遅発性の発疹を発症した一例

赤嶺一姫[1)]、椎木創一[2)]、喜友名朝史[1)]、
野波陽子[1)]、鷹尾香里[3)]、赤嶺千賀子[3)]

1）沖縄県立中部病院薬局
2）沖縄県立中部病院感染症内科
3）沖縄県立中部病院看護部

P-033　当院 HIV 患者における併存疾患・併用薬の現状と課題

柏原陽平[1)]、増田章秀[1)]、弓場達也[3)]、
津田正博[1)]、大野聖子[2)]

1）京都第一赤十字病院 薬剤部
2）京都第一赤十字病院 感染制御部
3）京都第一赤十字病院 呼吸器内科

P-034　当院における HIV 陽性者の併存疾患治療薬に関する現状調査

神尾咲留未[1)]、阿部憲介[1)]、近藤　旭[1)]、
後藤達也[1)]、須藤美絵子[2)]、佐々木晃子[2)]、
伊藤ひとみ[2)]、伊藤俊広[2)]

1）国立病院機構仙台医療センター　薬剤部
2）国立病院機構仙台医療センター　感染症内科

P-035　ドルテグラビルとメトホルミンの併用に関する検討

川口しおり[1)]、平野　淳[1)]、加藤万理[1)]、
福島直子[1)]、今村淳治[3)]、今橋真弓[3)]、
岩谷靖雅[2)]、中井正彦[1)]、横幕能行[3)]

1）国立病院機構名古屋医療センター 薬剤部
2）国立病院機構名古屋医療センター　エイズ治療開発センター
3）国立病院機構名古屋医療センター　臨床研究センター　感染・免疫研究部

P-036　HIV 感染患者における外来での継続的な栄養指導の効果について

安樂菜月[1)]、長岳愛美[1)]、一ノ瀬雅子[1)]、
久保　葵[1)]、山口留美[1)]、辻麻理子[2)]、
長與由紀子[3)]、城崎真弓[3)]、犬丸真司[3)]、
高濱宗一郎[4)]、南　留美[4)]、山本政弘[4)]、
淵邊まりな[5)]

1）独立行政法人国立病院機構九州医療センター　栄養管理室
2）心理療法室
3）看護部
4）免疫感染症内科
5）独立行政法人国立病院機構南九州病院　栄養管理室

P-037　新規抗痙攣薬に変更を行うことで抗 HIV 薬との相互作用が回避できた 1 例

矢倉裕輝[1)]、中内崇夫[1)]、冨島公介[1)]、
上平朝子[2)]、白阪琢磨[2)]

1）国立病院機構　大阪医療センター　薬剤部
2）国立病院機構　大阪医療センター　感染症内科

P-038　日本人 HIV 感染者における Dolutegravir の母集団薬物動態解析

霧生彩子[1)]、長島浩二[1)]、押賀充則[1)]、
早川史織[1)]、増田純一[1)]、土屋亮人[2)]、
田沼順子[2)]、照屋勝治[2)]、潟永博之[2)]、
塚田訓久[2)]、寺門浩之[1)]、菊池　嘉[2)]、
岡　慎一[2)]

1）国立研究開発法人　国立国際医療研究センター病院　薬剤部
2）国立研究開発法人　国立国際医療研究センター病院　エイズ治療・研究開発センター

P-039 日本人 HIV 感染者における Raltegravir の母集団薬物動態解析

小泉龍士[1)]、霧生彩子[1)]、長島浩二[1)]、押賀充則[1)]、早川史織[1)]、増田純一[1)]、土屋亮人[2)]、田沼順子[2)]、照屋勝治[2)]、潟永博之[2)]、塚田訓久[2)]、寺門浩之[1)]、菊池　嘉[2)]、岡　慎一[2)]

1）国立国際医療研究センター病院　薬剤部
2）国立国際医療研究センター病院　エイズ治療・研究開発センター

臨床　症例報告

P-040 ST 合剤で薬疹、ペンタミジンでアナフィラキシー様症状を起こした難治性ニューモシスチス肺炎の一例

寺前晃介、北島平太、来住知美、廣田和之、伊熊素子、上地隆史、渡邊　大、西田恭治、上平朝子、白阪琢磨

大阪医療センター

P-041 ニューモシスチス肺炎に肺ノカルジア症を合併した後天性免疫不全症候群の 1 例

山本雄大、伊熊素子、渡邊　大、湯川理己、来住知美、廣田和之、上地隆史、西田恭治、上平朝子、白阪琢磨

独立行政法人　国立病院機構　大阪医療センター

P-042 メフロキン、ミルタザピンにより症状の進行が抑制されたと思われる進行性多巣性白質脳症症の一例

加藤英明、寒川　整

横浜市立大学医学部血液・免疫・感染症内科

P-043 抗 HIV 療法後に肝臓及び脾臓の病変増悪を認めた肺結核の一例

北島平太、廣田和之、寺前晃介、来住知美、伊熊素子、上地隆史、渡邊　大、西田恭治、上平朝子、白阪琢磨

独立行政法人国立病院機構　大阪医療センター感染症内科

P-044 PCP 治療後に免疫再構築症候群として播種性 MAC 症を発症した 1 例

谷口智宏

県立広島病院総合診療科・感染症科

P-045 上気道閉塞のリスクを有するカポジ肉腫の治療経験症例

笠島志穂、山城朋子、健山正男、山入端一貴、兼久　梢、新垣若子、鍋谷大二郎、藤田次郎

琉球大学医学部付属病院第一内科感染症・呼吸器内科

P-046 Kaposi 肉腫に合併した難治性温式自己免疫性溶血性貧血の治療に苦慮した AIDS 症例

竹内麻子[1)]、橋本誠也[1)]、徳永博敏[1)]、林　成樹[1)]、内田圭一[1)]、松本誠司[1)]、安井晴之進[1)]、横井桃子[1)]、廣瀬　匡[1)]、清水里紗[1)]、佐野史典[1)]、近藤敏範[1)]、松橋佳子[1)]、中桐逸博[2)]、近藤英生[1)]、和田秀穂[1)]

1）川崎医科大学附属病院　血液内科学
2）川崎医科大学附属病院　中央検査部

P-047 薬害 HIV 感染血友病患者に合併したホジキン病

内藤千晶[1)]、柳澤邦雄[1)]、小川孔幸[1)]、石崎芳美[2)]、真下貴子[3)]、城田陽子[4)]、中村聡洋[2)]、合田　史[6)]、内海英貴[7)]、塚本憲史[5)]、半田　寛[1)]

1）群馬大学医学部附属病院　血液内科
2）群馬大学医学部附属病院　看護部
3）群馬大学医学部附属病院　薬剤部
4）群馬大学医学部附属病院　医事課（エイズ予防財団）
5）群馬大学医学部附属病院　腫瘍センター
6）国立病院機構　高崎総合医療センター　総合診療科
7）医療法人社団日高会　白根クリニック

P-048 NASH や肝炎ウイルス感染などのリスクのない HIV 感染者に生じた肝細胞癌の 1 例

横田和久[1)]、四本美保子[1)]、杉本勝俊[2)]、宮下竜伊[1)]、上久保淑子[1)]、一木昭人[1)]、近澤悠志[1)]、備後真登[1)]、村松　崇[1)]、金子　誠[1)]、萩原　剛[1)]、天野景裕[1)]、福武勝幸[1)]

1）東京医科大学病院臨床検査医学科
2）東京医科大学病院消化器内科

P-049 HIV 感染症合併 S 状結腸癌再発に対して外来化学療法を施行した一例

池田　博[1)]、小船雅義[1)]、後藤亜香利[1)]、
菊地尚平[1,2)]、村瀬和幸[1,2)]、高田弘一[1,2)]、
井山　諭[1)]、又村了輔[4)]、國本雄介[4)]、
木川寛子[5)]、種村理恵子[6)]、五十嵐友彦[6)]、
宮越郁子[3)]、村上則子[3)]、加藤淳二[2)]

1）札幌医科大学血液内科
2）札幌医科大学腫瘍内科
3）札幌医科大学附属病院看護部
4）札幌医科大学付属病院薬剤部
5）札幌医科大学医療連携福祉センター
6）札幌医科大学歯科口腔外科

P-050 腸管スピロヘータ症とサイトメガロウイルスの共感染による侵襲性大腸炎を認めた HIV 感染者の1例

鄭　瑞雄[1)]、河内宣之[1)]、田中　勝[1)]、
福島一彰[1)]、小林泰一郎[1)]、矢嶋敬史郎[1)]、
関谷紀貴[2)]、味澤　篤[3)]、今村顕史[1)]

1）がん・感染症センター都立駒込病院感染症科
2）がん・感染症センター都立駒込病院感染制御科
3）東京都立北療育医療センター

P-051 血球貪食症候群に抗 HIV 療法が著効したと考えられる急性 HIV 感染症の一例

坂部茂俊[1)]、豊島弘一[1)]、小倉香里[3)]、
森尾志保[3)]、服部公紀[2)]

1）伊勢赤十字病院　感染症内科
2）伊勢赤十字病院薬剤部
3）伊勢赤十字病院看護部

臨床　臨床検査

P-052 HIV RNA と DNA の混合物から RNA を選択的に増幅する RT-PCR 法の開発

丸山理恵、加藤真吾

慶應義塾大学医学部微生物学・免疫学教室

P-053 HIV 急性感染における HIVAg/Ab の発光強度／カットオフと HIV-1RNA 定量の乖離について

齊藤孝子[1)]、松浦基夫[2)]、川畑拓也[3)]、
森　治代[3)]、小島洋子[3)]

1）堺市立総合医療センター臨床検査技術科
2）堺市立総合医療センター腎代謝免疫内科
3）大阪健康安全基盤研究所ウイルス課

臨床　母子感染

P-054 過去 19 年間の妊婦 HIV スクリーニング検査実施率の比較と母子感染対策への取り組み

吉野直人[1,2)]、伊藤由子[2)]、大里和広[2)]、
高橋尚子[1,2)]、杉浦敦[2)]、田中瑞恵[2)]、
谷口晴記[2)]、山田里佳[2)]、桃原祥人[2)]、
定月みゆき[2)]、戸谷良造[2)]、稲葉憲之[2)]、
和田裕一[2)]、塚原優己[2)]、喜多恒和[2)]

1）岩手医科大学微生物学講座
2）厚生労働科学研究費補助金エイズ対策政策研究事業「HIV 感染者の妊娠・出産・予後に関する疫学的・コホート的調査研究と情報の普及啓発法の開発ならびに診療体制の整備と均てん化に関する研究」班

P-055 妊婦 HIV スクリーニングにおける未受診妊婦の問題 -- 妊婦 HIV スクリーニング検査率に関する全国調査

大里和広[1)]、吉野直人[2)]、伊藤由子[2)]、
高橋尚古[2)]、杉浦　敦[2)]、谷口晴記[2)]、
山田里佳[2)]、桃原祥人[2)]、田中瑞恵[2)]、
定月みゆき[2)]、戸谷良造[2)]、稲葉憲之[2)]、
和田裕一[2)]、塚原優己[2)]、喜多恒和[2)]

1）三重中央医療センター
2）厚生労働科学研究費補助金エイズ対策政策研究事業「HIV 感染者の妊娠・出産・予後に関する疫学的・コホート的調査研究と情報の普及啓発法ならびに診療体制の整備と均てん化に関する研究」班

P-056 健康な HIV 陽性男性が陰性女性との間に子供を持つために；洗浄精子を用いた顕微授精について

本田徹郎[1)]、久慈直昭[2)]、丸山理恵[3)]、
須藤弘二[3)]、加藤真吾[3)]

1）倉敷中央病院産婦人科
2）東京医科大学産科婦人科
3）慶應義塾大学医学部微生物学免疫学

P-057 当院における HIV 母子感染対策としての抗 HIV 療法の現状

福島直子[1)]、平野　淳[1)]、加藤万理[1)]、
川口しおり[1)]、松本千鶴[1)]、蜂谷敦子[3)]、
岩谷靖雅[3)]、中井正彦[1)]、横幕能行[2)]

1）国立病院機構　名古屋医療センター　薬剤部
2）国立病院機構名古屋医療センター　エイズ治療開発センター
3）国立病院機構名古屋医療センター　臨床研究センター　感染・免疫研究部

P-058 当院で経験したHIV感染妊婦に対する抗HIV療法の実施状況とその有効性および安全性に関する検討

生駒良和[1)]、石原正志[2,3)]、松岡梨恵[3)]、加藤寛子[3)]、杉山仁美[2,4)]、鶴見　寿[1,2,5)]

1）岐阜大学医学部附属病院　血液感染症内科
2）岐阜大学医学部附属病院　エイズ対策推進センター
3）岐阜大学医学部附属病院　薬剤部
4）岐阜大学医学部附属病院　看護部
5）松波総合病院　血液内科

P-059 当院におけるHIV陽性妊婦3例に対する帝王切開シミュレーションについて

細川恵理[1)]、松本昌子[1)]、佐々木博正[2)]

1）石川県立中央病院　MFICU
2）石川県立中央病院　産婦人科

P-060 妊娠4ヶ月で実施したHIVスクリーニング検査が陰性であった母子感染の一例

山崎尚也[1)]、丸山栄子[2)]、杉本悠貴恵[2)]、村上英子[2)]、宮原明美[3)]、池田有里[3)]、喜花伸子[4)]、石井聡一郎[5)]、小林正夫[6)]、藤井輝久[1)]

1）広島大学病院輸血部
2）広島大学病院エイズ医療対策室
3）広島大学病院看護部
4）広島大学病院患者相談支援部
5）広島大学病院薬剤部
6）広島大学病院小児科

臨床　看護

P-061 HIV/AIDS関連疾患入院患者の5年間の診療録分析による医療管理の実際と影響要因

碓井瑠衣[1)]、今津陽子[1)]、松山奈央[2)]、竹林早苗[2)]、青盛真紀[1)]、渡部節子[1)]

1）公立大学法人横浜市立大学医学部看護学科
2）公立大学法人横浜市立大学附属病院看護部

P-062 HIV/AIDS患者が受診・内服中断する原因の考察と看護のポイント～5事例を振り返って～

田中剛弘、神木京子、山口愛美、藤高麻美、米田奈津子

独立行政法人　国立病院機構　大阪医療センター　西8階病棟

P-063 当院におけるHIV患者の退院支援のための外来と病棟看護師間の情報共有

犬丸真司、城崎真弓、長與由紀子、金子弘美

独立行政法人　国立病院機構　九州医療センター

P-064 人工呼吸器を必要とするHIV陽性患者の地域病院への転院事例よりの学び～エイズ診療中核拠点病院の役割と支援方法～

三田洋子[1)]、井田真由美[2)]、正木るり子[2)]、松浦基夫[3)]、樅木和美[4)]、岡崎　浩[5)]

1）堺市立総合医療センター
2）看護局
3）診療局
4）地域医療センター
5）植木病院

P-065 一般透析施設でのHIV感染症受け入れ時の感染症対策と準備のポイント

木村真由美、黒川美紀、宮元文子、山田育子、小野木健詞

医療法人偕行会　碧海クリニック

P-066 サテライトでの通院透析受け入れに至った一症例　～スタッフ心理と介入をもとに～

山田育子、木村真由美、小野木健詞

医療法人　偕行会　碧海共立クリニック

臨床　歯科

P-067 群馬県におけるHIV歯科診療連携事業の整備

中村聡洋[1)]、石崎芳美[1)]、大野恭平[1)]、村田芽依[1)]、柳澤邦雄[2)]、小川孔幸[2)]、内藤千晶[2)]、真下貴子[3)]、城田陽子[4)]、合田　史[5)]、内海秀貴[6)]、大谷忠広[1)]、半田　寛[2)]

1）群馬大学医学部附属病院　看護部
2）群馬大学医学部附属病院　血液内科
3）群馬大学医学部附属病院　薬剤部
4）群馬大学医学部附属病院　医事課（エイズ予防財団）
5）国立病院機構　高崎総合医療センター　総合診療科
6）医療法人社団日高会　白根クリニック

P-068 北海道大学病院歯科診療センターにおけるHIV陽性患者受診動向—受け入れ初期より30年が経過して—

宮腰昌明、佐藤　淳、北川善政

北海道大学大学院歯学研究院　口腔病態学講座　口腔診断内科学教室

P-069 沖縄県歯科医療従事者のHIV/AIDS患者歯科診療に対するアンケート調査の検討

西原一秀[1)]、平野惣大[2)]、健山正男[3)]、前田サオリ[4)]、宮城京子[4)]、藤田次郎[3)]、新崎　章[1)]

1）琉球大学大学院医学系研究科顎顔面口腔機能再建学講座
2）琉球大学医学部附属病院歯科口腔外科
3）琉球大学大学院医学研究科感染症・呼吸器・消化器内科学
4）琉球大学医学部附属病院看護部

P-070 抗HIV薬が口腔環境と味覚機能に及ぼす影響

新谷智章[1)]、山崎尚也[2,3)]、岩田倫幸[4)]、齊藤誠司[5)]、岡田美穂[6)]、松井加奈子[6)]、畝井浩子[7)]、藤田啓子[7)]、濱本京子[3)]、木下一枝[8)]、池田有里[8)]、藤井輝久[2,3)]、柴　秀樹[9)]

1）広島大学病院口腔検査センター
2）広島大学病院輸血部
3）広島大学病院エイズ医療対策室
4）広島大学病院歯周診療科
5）福山医療センター
6）広島大学病院歯科衛生部門
7）広島大学病院薬剤部
8）広島大学病院看護部
9）広島大学大学院医歯薬保健学研究院歯髄生物学研究室

臨床　医療体制

P-071 福山医療センターの広島県東部地区におけるエイズ中核拠点病院としての役割と活動状況

齊藤誠司[1,2)]、村上由佳[2)]、飯塚暁子[2)]、松井綾香[2)]、野村直幸[2)]、木梨貴博[2)]、門田悦子[2)]、藤原千尋[2)]、曲田亜優美[2)]、坂田達朗[2)]

1）独立行政法人国立病院機構　福山医療センター　感染症内科
2）福山医療センター　広島県東部地区エイズ治療センター

P-072 薬局での情報提供に対する患者満足度と薬薬連携との関連—HIV感染症患者を対象とした取り組み—

日笠真一、島袋翔多、秀田恭子、岡本ちはる、田中邦佳、柳井美奈、木村　健

兵庫医科大学病院　薬剤部

P-073 抗HIV薬院外処方においてかかりつけ薬剤師の取り組み

中村美紀、水木晃治、堅田陽介

一般社団法人　日本薬業育成会　きらめき薬局

P-074 HIV感染症薬物療法薬剤師養成研修受け入れに関する実態調査

阿部憲介[1,2)]、石原正志[1,3)]、大石裕樹[1,4)]、冨島公介[1,5)]、増田純一[1,6)]、畝井浩子[1,7)]、菊池　嘉[1,6)]、桑原　健[8)]、木平健治[8)]

1）一般社団法人日本病院薬剤師会HIV感染症専門薬剤師部門研修委員会
2）国立病院機構仙台医療センター
3）岐阜大学医学部付属病院
4）国立病院機構九州医療センター
5）国立病院機構大阪医療センター
6）国立国際医療研究センター病院
7）広島大学病院
8）一般社団法人日本病院薬剤師会

P-075 当院のHIV担当薬剤師による地域医療への貢献と患者への関わり

畠山成寛[1)]、松井周一[1)]、古川大輔[1)]、小池博文[1)]、佐橋幸子[1)]、寒川　整[2)]、酒井梨紗[2)]、加藤英明[2)]、中島秀明[2)]

1）横浜市立大学附属病院薬剤部
2）横浜市立大学附属病院リウマチ・血液・感染症内科

基礎　基礎1

P-076 カプシド182番目アミノ酸残基のCPSF6結合への寄与はHIV-1とHIV-2で異なる

齊藤　暁[1)]、大出裕高[2)]、野畑享太郎[1)]、大森久樹[1)]、中山英美[1)]、岩谷靖雅[2)]、塩田達雄[1)]

1）大阪大学微生物病研究所
2）国立病院機構名古屋医療センター　臨床研究センター

P-077 Human mannose receptor1 (hMRC1) による HIV-1 感染抑制機能の解析

助川明香[1,2,3]、岩谷靖雅[1]、Strebel Klaus[2]

1) 名古屋医療センター　臨床研究センター　感染・免疫研究部
2) National Institutes of Health, NIAID, LMM
3) エイズ予防財団

P-078 The divergent MCM10 degradation profiling by primate lentiviral Vpr/x in human and monkeys

Chang Hao[1,2]、Siarot Lowela[1]、大附寛幸[1]、間　陽子[1,2]

1) 理化学研究所　開拓研究本部　伊藤ナノ医工学研究室
2) 東大院　新領域　メディカル情報生命　感染制御分子機能解析分野

P-079 HIV-1 カプシドタンパク質の多重リン酸化とウイルス複製に関する解析

三隅将吾[1]、下賀悠平[1]、岸本直樹[1]、高宗暢暁[2]

1) 熊本大・薬・環境分子
2) 熊本大・KIDO

P-080 HIV-1 capsid (CA) 構造蛋白において、C 末端アミノ酸が寄与する CA 蛋白不安定性に関するウイルス学的考察

天野将之[1]、趙　睿[1]、中村朋文[1]、中田浩智[1]、宮川寿一[1]、松岡雅雄[1]、満屋裕明[2]

1) 熊本大学医学部附属病院 血液・膠原病・感染症内科
2) 国立国際医療研究センター研究所

P-081 HIV-1 潜伏感染プロウイルスの再活性化を誘導する低分子化合物の探索

合田　仁[1,2]、鈴木一雄[3]、井上純一郎[4]、川口　寧[5]、石田尚臣[1,2]

1) 東京大学医科学研究所アジア感染症研究拠点
2) 中国科学院微生物研究所中日連携研究室
3) シドニーセントビンセント応用医科学研究センター、ニューサウスウエールズ州立 HIV リファレンス研究室
4) 東京大学医科学研究所分子発癌分野
5) 東京大学医科学研究所ウイルス病態制御分野

基礎　基礎 2

P-082 A small compound, DP2392-E10, targeting CRM1-mediated nuclear export function inhibits HIV-1 replication

Chutiwitoonchai Nopporn[1,2]、Siarot Lowela[1,2]、柿坂道範[2]、真野尊史[2]、Chang Hao[1,3]、武井正美[4]、間　陽子[1,2,3]

1) 理化学研究所　開拓研究本部　伊藤ナノ医工学研究室
2) 理化学研究所　分子ウイルス学特別研究ユニット
3) 東大院　新領域　メディカル情報生命　感染制御分子機能解析分野
4) 日本大学医学部　内科学系血液膠原病内科分野

P-083 抗 HIV-1 活性を持つ新規フラーレン誘導体の作用機序解明

加茂真宏[1]、安野拓実[2]、高橋恭子[2]、大塚雅巳[1]、大江知之[2]、増野匡彦[2]、藤田美歌子[3]

1) 熊本大学生命科学研究部生体機能分子合成学
2) 慶應義塾大学薬学部医薬品化学講座
3) 熊本大学薬学部附属創薬研究センター

P-084 Synergistic inhibition by single chain fragment variables and fusion inhibitors in both cell-free and cell-associated HIV-1 infections

Alam Mohammad Mamun、Kuwata Takeo、Shuzo Matsushita

Centre for AIDS Research, School of Medical Science, Kumamoto University

P-085 抗イディオタイプ抗体による抗 V3 中和単クローン抗体産生 B 細胞単離方法の検討

郭　悠、桑田岳夫、田中和樹、Biswas Shashwata、Zahid MD Hassan、松下修三

熊本大学エイズ研究センター　松下プロジェクト研究室

P-086 東京都内の公的検査機関における HIV 陽性例の国内伝播クラスタの解析

長島真美[1]、北村有里恵[1]、熊谷遼太[1]、根岸あかね[1]、林　志直[1]、新開敬行[1]、椎野禎一郎[2]、貞升健志[1]

1) 東京都健康安全研究センター　微生物部
2) 国立感染症研究所　エイズ研究センター

社会　MSM

P-087　Phylogenetic clustering analysis among young Black men who have sex with men

Kayo Fujimoto [1)]、Paraskevisb Dimitrios [2)]、Zhao Jing [1)]、Kuhns Lisa [3)]、Hwang Lu-Yu [1)]、Hatzakis Angelos [4)]、Schneider John [5)]

1) University of Texas Health Science Center at Houston
2) National and Kapodistrian University of Athens
3) Ann & Robert H. Lurie Children's Hospital, Chicago
4) Athens University Medical School
5) University of Chicago

P-088　Studies on NGOs' HIV prevention interventions targeting MSM community in Mongolia, 2017

Takaku M [1)]、Dorjgotov M [2)]、Gombo E [3)]、Galsanjamts N [4)]、Jagdagsuren D [5)]、Ichikawa S [1)]、Shiono S [6)]、Kaneko N [7)]、Oka S [8)]

1) University of Human Environments, School of Nursing
2) Youth for Health Center NGO, Mongolia
3) Together Center NGO, Mongolia
4) Human Rights Youth Health Support NGO, Mongolia
5) NCCD, Mongolia
6) Osaka Aoyama University, School of Health Sciences
7) Nagoya City University, School of Nursing
8) ACC

社会　カウンセリング

P-089　「東京都エイズ専門相談員制度」の有用性について―同制度を初めて利用した医療従事者に対する意識調査からの検討―

望月昌恵、神谷昌枝、内野ナンティヤー、吉田容子、荒井アオイ、宮島謙介、臼井久美子

東京都福祉保健局健康安全部感染症対策課エイズ対策担当

P-090　入院患者に対する簡易認知機能検査導入の試み

松岡亜由子、杉村美奈子、種村圭祐、李　盛熟、横幕能行

（独）国立病院機構名古屋医療センターエイズ治療開発センター

P-091　当院の HIV 陽性者の心理面接の転帰とその特徴からみるメンタルヘルスの課題

木村聡太 [1,2)]、小松賢亮 [1)]、霧生瑶子 [1)]、渡邊愛祈 [3)]、大金美和 [1)]、池田和子 [1)]、田沼順子 [1)]、照屋勝治 [1)]、塚田訓久 [1)]、潟永博之 [1)]、菊池　嘉 [1)]、岡　慎一 [1)]

1) 国立国際医療研究センター病院エイズ治療・研究開発センター
2) 公益財団法人エイズ予防財団
3) 東京都立小児総合医療センター

P-092　抗 HIV 治療でウイルス学的効果を維持している症例の心理状態

古西　満 [1,3)]、宇野健司 [2,3)]、菱矢直邦 [2,3)]、治田匡平 [4)]、青井博志 [4)]、川崎裕貴 [4)]、谷口美苗 [5)]、南村　茜 [5)]、小川吉彦 [3)]、小川　拓 [3)]、笠原　敬 [3)]、三笠桂一 [3)]

1) 奈良県立医科大学健康管理センター
2) 南奈良総合医療センター感染症内科
3) 奈良県立医科大学感染症センター
4) 奈良県立医科大学附属病院薬剤部
5) 奈良県立医科大学附属病院看護部

社会　教育・行動科学・意識調査

P-093　愛媛県の各医療機関における HIV/AIDS 研修会後のアンケート調査を介した意識調査の比較

末盛浩一郎 [1)]、小野恵子 [2)]、若松　綾 [3)]、中尾　綾 [3)]、武田怜子 [3)]、芝田佳香 [3)]、宮崎雅美 [3)]、乗松真大 [4)]、木村博史 [4)]、田中景子 [6)]、山岡多恵 [3)]、井門敬子 [4)]、竹中克斗 [1)]、高田清式 [5)]

1) 愛媛大学医学部附属病院　第一内科
2) 総合診療サポートセンター
3) 看護部
4) 薬剤部
5) 総合臨床研修センター
6) 愛媛大学大学院 疫学・予防医学講座

P-094　歯科医師国家試験における HIV/AIDS に関する出題について

宇佐美雄司、松井　遥、總山貴子、萩野浩子

名古屋医療センター歯科口腔外科

P-095 看護師の HIV 患者教育スキルアップを目指した経年別勉強会の有用性

細田美月[1)]、中嶋　遥[2)]、石井祥子[1)]、
末満　藍[1)]、中島巳歌[1)]、佐藤　緑[1)]、
小森真美[1)]、岩丸陽子[1)]、照屋勝治[3)]、
菊池　嘉[3)]、岡　慎一[3)]

1）国立研究開発法人国立国際医療研究センター病院
2）独立行政法人国立病院機構まつもと医療センター
3）国立研究開発法人国立国際医療研究センター病院エイズ治療・研究開発センター

P-096 介護保険施設における感染症予防研修　全職員への出前研修　実践報告

井田真由美[1)]、佐保美奈子[2)]、泉　抽岐[3)]、
西口初江[4)]、豊島裕子[5)]、白阪琢磨[6)]

1）堺市立総合医療センター　看護局
2）大阪府立大学大学院看護学研究科
3）羽衣国際大学人間生活学部
4）大阪信愛学院短期大学看護学科
5）大阪市立総合医療センター看護部
6）国立大阪医療センター

P-097 性教育実践に関する中学校教員の意識実態と市 HIV 協議会の取り組みの課題

山崎明美[1)]、金井信一郎[2)]、北野喜良[3)]、
後藤裕子[4)]、竹内はるか[5)]、小林和代[5)]、
田中正一[6)]、佐藤亜矢子[6)]、塚田雅宏[6)]

1）信州大学医学部保健学科
2）信州大学医学部附属病院
3）国立病院機構まつもと医療センター
4）松本性を語る会
5）板倉レディースクリニック
6）松本市健康福祉部健康づくり課

社会　検査

P-098 保健所・検査所における HIV 検査・相談実施状況および陽性率に関するアンケート調査

土屋菜歩[1)]、佐野貴子[2)]、近藤真規子[2)]、
堅多敦子[3)]、石丸雄二[4)]、城所敏英[5)]、
カエベタ亜矢[6)]、川畑拓也[7)]、貞升健志[8)]、
須藤弘二[9)]、加藤真吾[9)]、大木幸子[10)]、
今井光信[11)]、今村顕史[12)]

1）東北大学東北メディカル・メガバンク機構
2）神奈川県衛生研究所
3）東京都福祉保健局
4）豊島区池袋保健所
5）東京都南新宿検査・相談室
6）新宿区保健所
7）地方独立行政法人大阪健康安全基盤研究所
8）東京都健康安全研究センター微生物部
9）慶應義塾大学医学部
10）杏林大学保健学部
11）田園調布学園大学
12）がん・感染症センター都立駒込病院

P-099 民間検査センターにおける HIV 検査実施状況に関するアンケート調査

佐野貴子[1)]、近藤真規子[1)]、須藤弘二[2)]、
今井光信[3)]、加藤真吾[2)]、今村顕史[4)]

1）神奈川県衛生研究所微生物部
2）慶応義塾大学医学部微生物学・免疫学教室
3）田園調布学園大学
4）がん・感染症センター都立駒込病院感染症科

P-100 大阪検査相談・啓発・支援センターにおける動向と女性の HIV 含む性感染症の動向

毛受矩子[1,3)]、来住知美[2)]、高野正子[3)]

1）特定非営利活動法人、スマートらいふネット
2）国立病院機構大阪医療センター
3）スマートらいふクリニック

P-101 エビデンスに基づいた専門職向け HIV 検査 Q&A 集の作成

川畑拓也[1)]、井戸田一朗[2)]、小島洋子[1)]、
近藤真規子[3)]、貞升健志[4)]、佐野貴子[3)]、
須藤弘二[6)]、高田　昇[5)]、長島真美[4)]、
森　治代[1)]、加藤真吾[6)]、今村顕史[7]

1）地方独立行政法人　大阪健康安全基盤研究所
2）しらかば診療所
3）神奈川県衛生研究所
4）東京都健康安全研究センター
5）中国電力株式会社中電病院
6）慶應義塾大学医学部　微生物学・免疫学教室
7）がん・感染症センター都立駒込病院感染症科

P-102 中国四国地方におけるより感染リスクの高い MSM 層の実態把握と HIV 抗体検査受検経験に関するコミュニティアンケート調査

和田秀穂[1)]、塩野徳史[2)]、徳永博俊[1)]、
竹内麻子[1)]、健山正男[3)]、市川誠一[4)]、
金子典代[5)]

1）川崎医科大学血液内科学
2）大阪青山大学看護学科
3）琉球大学大学院医学研究科
4）人間環境大学看護学部
5）名古屋市立大学看護学部

P-103 MSM 向け出会い系アプリを利用し梅毒啓発と関連づけた HIV 検査受検勧奨の効果に関して

河内宣之[1)]、福島一彰[1)]、田中　勝[1)]、白阪琢磨[2)]、城所敏英[3)]、堅多敦子[4)]、生島　嗣[5)]

1）がん・感染症センター都立駒込病院感染症科
2）独立行政法人 国立病院機構 大阪医療センター感染症内科
3）東京都南新宿検査・相談室
4）東京都保健福祉局
5）ぷれいす東京

P-104 広島市域における NPO、行政、職能団体が協働したイベント検査 10 年の軌跡

早坂典生[1)]、藤原良次[1)]、森高辰也[1)]、中島　静[2)]、桑原隆一[2)]、大塚崇通[2)]、坂本裕敬[3)]、峠　恭雄[3)]、高山　翔[3)]

1）特定非営利活動法人りょうちゃんず
2）一般社団法人広島県臨床検査技師会
3）広島市

P-105 N 区における地方公共団体と NPO 法人の連携による HIV 検査相談事業の実践

藤部荒術[1)]、橋本広志[1)]、嶋田憲司[1)]、河口和也[2)]、高嶋能文[3)]、飯塚信吾[1)]、太田昌二[1)]、新　美広[1)]

1）特定非営利活動法人動くゲイとレズビアンの会（アカー）
2）広島修道大学
3）医療法人社団めぐみ会 自由が丘メディカルプラザ 2 小児科

社会　在宅療養支援

P-106 他機関の連携による短期記憶障害患者の在宅療養移行支援

中村美保、前田英武、岡崎雅史、西田拓洋、四國友理、朝霧　正、坂本紗友里、武内世生

高知大学医学部附属病院　エイズケアチーム

P-107 HIV 感染者においてかかりつけ医を持つことに対して障壁となっている心理・社会的要因の調査と検討

飯塚暁子[1)]、藤原千尋[1)]、村上由佳[1)]、門田悦子[1)]、三笠かおる[1)]、大島瑞穂[1)]、松井綾香[1)]、野村直幸[1)]、木梨貴博[1)]、齊藤誠司[1)]、坂田達朗[1)]、和田秀穂[2)]

1）国立病院機構　福山医療センター
2）川崎医科大学　血液内科学

社会　薬害・人権

P-108 薬害 HIV 感染被害患者における医療行為を伴わない健康訪問相談の支援成果

柿沼章子、岩野友里、久地井寿哉、大平勝美

社会福祉法人はばたき福祉事業団

P-109 血液製剤による HIV 感染者の調査成績 第 2 報 生活状況の概要

川戸美由紀[1)]、橋本修二[1)]、大金美和[2)]、岡　慎一[2)]、岡本　学[3)]、潟永博之[2)]、日笠　聡[4)]、福武勝幸[5)]、八橋　弘[6)]、白阪琢磨[3)]

1）藤田保健衛生大学 医学部 衛生学
2）国立国際医療研究センター エイズ治療・研究開発センター
3）国立病院機構大阪医療センター HIV/AIDS 先端医療開発センター
4）兵庫医科大学病院 血液内科
5）東京医科大学 医学部 臨床検査医学講座
6）国立病院機構長崎医療センター 臨床研究センター

社会　陽性者支援

P-110 「Futures Japan HIV 陽性者のためのウェブ調査」継続回答者の特徴の検討

米倉佑貴[1)]、戸ヶ里泰典[2)]、高久陽介[3)]、若林チヒロ[4)]、細川陸也[5)]、塩野徳史[6)]、片倉直子[7)]、山内麻江[8)]、大島　岳[9)]、大木幸子[10)]、阿部桜子[11)]、河合　薫[12)]、渡邊淳子[13)]、梅沢寛子[2)]、井上洋士[2,14)]

1）聖路加国際大学
2）放送大学
3）NPO 法人日本 HIV 陽性者ネットワーク・ジャンププラス
4）埼玉県立大学
5）名古屋市立大学
6）大阪青山大学
7）神戸市看護大学
8）了徳寺大学
9）一橋大学大学院
10）杏林大学
11）TIS（株）
12）（株）MH レボリューション
13）福岡大学病院
14）国立がん研究センター

P-111 HIV陽性者の療養先の拡大を目指して ー出張研修のアンケート調査からー

石毛忠明、宮林優子、屋鋪智子、吉村幸浩

横浜市立市民病院　患者総合サポートセンター

P-112 大阪における新規 HIV 陽性者グループ支援の取り組み ～ひよっこクラブの 10 年間を振り返る～

白野倫徳、大野まどか、柏木瑛信、福村和美、田島茂恵、T　Y、前田圭子、松浦基夫、青木理恵子

特定非営利活動法人 CHARM

P-113 ベーシック講座「HIV ってどんな病気?」を担当して

福原寿弥、加藤力也、佐藤郁夫、池上千寿子、生島　嗣

特定非営利活動法人ぷれいす東京

P-114 HIV 陽性者を対象としたストレスマネジメント・グループプログラムの実施と課題

野坂祐子[1)]、生島　嗣[2)]

1) 大阪大学大学院
2) 特定非営利活動法人ぷれいす東京

P-115 HIV に関連したスティグマと感染後年数との関連の検討

阿部桜子[1)]、井上洋士[2,3)]、戸ヶ里泰典[3)]、高久陽介[4)]、若林チヒロ[5)]、細川陸也[6)]、塩野徳史[7,8)]、片倉直子[8)]、山内麻江[9)]、大島　岳[10)]、大木幸子[11)]、米倉佑貴[12)]、河合　薫[13)]、渡邊淳子[14)]、梅沢寛子[2)]

1) TIS 株式会社
2) 国立がん研究センター
3) 放送大学
4) NPO 法人日本 HIV 陽性者ネットワーク・ジャンププラス
5) 埼玉県立大学
6) 名古屋市立大学
7) 大阪青山大学
8) 神戸市立大学
9) 了徳寺大学
10) 一橋大学大学院
11) 杏林大学
12) 聖路加国際大学
13) (株) MH レボリューション
14) 福岡大学病院

P-116 HIV 陽性者におけるレクレーショナルドラッグ使用の変化—3 年間の縦断データ分析より—

戸ヶ里泰典[1)]、井上洋士[1,2)]、高久陽介[3)]、米倉佑貴[4)]、大島　岳[5)]、阿部桜子[6)]、塩野徳史[7)]、山内麻江[8)]、片倉直子[9)]、若林チヒロ[10)]、河合　薫[11)]、細川陸也[12)]、大木幸子[13)]

1) 放送大学
2) (株) アクセライト
3) NPO 法人日本HIV陽性者ネットワーク・ジャンププラス
4) 聖路加国際大学
5) 一橋大学大学院
6) TIS(株)
7) 大阪青山大学
8) 了徳寺大学
9) 神戸市看護大学
10) 埼玉県立大学
11) (株)MH レボリューション
12) 名古屋市立大学
13) 杏林大学

EP-01 Chronic Kidney Disease in US Patients with and without HIV within the Veteran’s Affairs Administration System

Scott Sutton[1,2]、J Magagnoli[2]、Fujiyama Naoto[3]、Hoshino Yo[3]、Damian McColl[3]、A Beaubrun[3]、JW Hardin[1,2]、B Edun[2]

1) University of South Carolina
2) WJB Dorn Veterans Affairs Medical Center
3) Gilead Sciences Inc

EP-02 Fracture Rates in US Veterans with and without HIV: A Cohort Study, 2000－2016

Scott Sutton[1]、J Magagnoli[2]、JW Hardin[1,2]、B Edun[2]、CE Reeder[1]、Fujiyama Naoto[3]、Hoshino Yo[3]、Damian McColl[3]、A Beaubrun[3]

1) University of South Carolina
2) WJB Dorn Veterans Affairs Medical Center
3) Gilead Sciences Inc

EP-03 Cardiovascular disease in patients with and without HIV in the US Veteran’s Affairs Administration System

Scott Sutton[1]、J Magagnoli[2]、JW Hardin[1,2]、Fujiyama Naoto[3]、Hoshino Yo[3]、Damian McColl[3]、A Beaubrun[3]、B Edun[2]

1) University of South Carolina
2) WJB Dorn Veterans Affairs Medical Center
3) Gilead Sciences Inc

EP-04 Doravirine (DOR) Versus Ritonavir-Boosted Darunavir (DRV+r): 96-Week Results of the Randomized, Double-Blind, Phase 3 DRIVE-FORWARD Noninferiority Trial

Carey Hwang[1]、Jean-Michel Molina[2]、Kathleen Squires[3]、Paul E.Sax[4]、Pedro Cahn[5]、Johan Lombaard[6]、Edwin DeJesus[7]、Ming-Tain Lai[1]、Xia Xu[1]、Anthony Rodgers[1]、Lisa Lupinacci[1]、Sushma Kumar[1]、Peter Sklar[1]、Bach-Yen T.Nguyen[1]、George J.Hanna[1]、Elizabeth Martin[1]

1) Merck & Co., Inc., Kenilworth, NJ
2) University of Paris 7, Hopital St Louis, Paris, France
3) Thomas Jefferson University, Philadelphia, PA
4) Brigham and Women’s Hospital, Harvard Medical School, Boston, MA
5) Fundacion Huesped, Buenos Aires, Argentina
6) Josha Research, Bloemfontein, South Africa
7) Orlando Immunology Center, Orlando, FL

EP-05 Dolutegravir plus lamivudine or tenofovir/emtricitabine in ART-naive adults with HIV-1 infection: 48week data from the GEMINI studies

P Cahn[1]、J Sierra Madero[2]、J Arribas[3]、A Antinori[4]、R Ortiz[5]、A Clarke[6]、Hung CC[7]、J Rockstroh[8]、PM Girard[9]、C Man[10]、J Sievers[10]、A Currie[11]、M Underwood[10]、A Tenorio[10]、K Pappa[10]、B Wynne[10]、M Gartland[10]、M Aboud[10]、K Smith[10]、I Koga[10]

1) Fundacion Huesped,Argentina
2) Instituto Nacional de Ciencias Medicas y Nutricion Salvador Zubiran
3) Hospital La Paz,Spain
4) Istituto Nazionale per le Malattie Infettive Lazzaro Spallanzani
5) Bliss Healthcare Services
6) Royal Sussex County Hospital
7) National Taiwan University Hospital
8) Rheinische Friedrich-Wilhelms Universitat
9) Hopital Saint Antoine
10) ViiV Healthcare
11) GSK

EP-06 Persistence among HIV-1 Patients Newly Starting Treatment: Single Versus Multiple Tablet Regimen Comparison

Dionne Hines [1)]、Yao Ding [1)]、Rolin Wade [1)]、Fujiyama Naoto [2)]、Hoshino Yo [2)]、Damian McColl [2)]、Anne Beaubrun [2)]、Joshua Cohen [3)]

1) QuintilesIMS
2) Gilead Sciences
3) University of North Carolina

EP-07 Durable Suppression 2 Years After Switch to DTG+RPV 2-Drug Regimen: SWORD 1&2 Studies

M. Aboud [1)]、C Orkin [2)]、D Podzamczer [3)]、J Bogner [4)]、D Baker [5)]、MA Kuong-Josses [6)]、D Parks [7)]、K Angelis [8)]、L Kahl [1)]、E Blair [1)]、M Underwood [1)]、B Wynne [1)]、K Vandermeulen [9)]、M Gartland [1)]、K Smith [1)]、I Koga [1)]

1) ViiV Healthcare, UK
2) Barts Health NHS Trust, UK
3) Hospital Universitari de Bellvitge, Spain
4) Hospital of the University of Munich, Germany
5) East Sydney Doctors, Darlinghurst, Australia
6) Hopital Delafontaine, France
7) Central West Clinical Research, USA
8) GlaxoSmithKline, UK
9) Janssen Pharmaceutica NV, Belgium

EP-08 Switch to B/F/TAF from DTG and ABC/3TC: Week 48 Results

Jean-Michel Molina [1)]、Douglas Ward [2)]、Hans Jürgen Stellbrink [3)]、Daniel Podzamczer [4)]、Cynthia Brinson [5)]、Kristen Andreatta [6)]、Hal Martin [6)]、Andrew Cheng [6)]、Hoshino Yo [6)]、Daminan McColl [6)]、Erin Quirk [6)]

1) Hôpital Saint Louis
2) Dupont Circle Physicians
3) ICH Study Center
4) Hospital Universitari de Bellvitge
5) Central Texas Clinical Research
6) Gilead Sciences

EP-09 Switch to B/F/TAF from Boosted PI-Based Regimens in Suppressed Adults: Week 48 Data

Eric S Daar [1)]、Edwin DeJesus [2)]、Hoshino Yo [3)]

1) Los Angeles Biomedical Research Institute, Harbor-UCLA Medical Center
2) Orlando Immunology Center
3) Gilead Sciences

EP-10 Switch to B/F/TAF from boosted protease inhibitor-based regimens in virologically suppressed adults: Week 48 lipid data

Julie Fox [1)]、Frank Post [2)]、Damian McColl [3)]

1) Guy's and St. Thomas' NHS Foundation Trust
2) King's College Hospital
3) Gilead Sciences

EP-11 B/F/TAF Single-Tablet Regimen in Adolescents: Week 24 Data

Aditya Gaur [1)]、Carina Rodriguez [2)]、Hoshino Yo [3)]

1) St. Jude Children's Research Hospital
2) University of South Florida
3) Gilead Sciences

EP-12 High HBV and HIV Suppression in HIV/HBV Coinfected Subjects in B/F/TAF Studies

Jürgen Rockstroh [1)]、Paul Sax [2)]、DamianMcColl [3)]

1) Universität Bonn
2) Brigham and Women's Hospital
3) Gilead Sciences

EP-13 Safety and Efficacy of EVG/COBI/FTC/TAF in HIV-Infected Adults on Chronic Hemodialysis

MS Rhee [1)]、JJ Eron [2)]、R Kalayjian [3)]、AK Wurapa [4)]、J Custodio [1)]、S Jiang [1)]、D SenGupta [1)]、N Li [1)]、M Das [1)]

1) Gilead Sciences, Inc.
2) University of North Carolina
3) MetroHealth
4) Infectious Disease Specialists of Atlanta

EP-14 Changes in CV Risk Calculation and in Fasting Lipids in Virologically Suppressed Patients Switching to Tenofovir Alafenamide versus Continuing Abacavir

MS Rhee [1)]、A Winston [2)]、DA Wohl [3)]、YP Liu [1)]、L Zhong [1)]、SE Collins [1)]、H Martin [1)]、D Sengupta [1)]、E Quirk [1)]、M Das [1)]

1) Gilead Sciences, Inc.
2) Imperial College
3) University of North Carolina